

農業競争力強化農地整備事業土地改良事業計画書（第1回変更）（案）

おかだかみ
岡田上地区

(全體)
(区画整理事業用)

香川県

目 次

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	3
3. 海 象	3
第2節 土 地 状 況	4
1. 地形、土壤及び侵蝕の程度	4
2. 土地分類	5
3. 土地利用の状況	5
4. 土地所有の状況	5
第3節 水 利 状 況	6
1. 用水状況	6
2. 排水状況	9
3. 河川状況	12
第4節 道 路 現 況	13
1. 道路概況	13
2. 主要道路一覧表	13
第5節 地域農業の概況	15
1. 産業別就業人口	15

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散	15
状況並びに専兼業別農家数	15
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	16
4. 主要作物作付状況	16
5. 農業の動向	17
第6節 地域環境の概要	18
1. 自然環境	18
2. 社会環境	18
3. 生産環境	18
第4章 一 般 計 画	19
第1節 事業計画の要旨	19
1. 要 旨	19
2. 事業別面積	19
第2節 営農計画及び土地利用計画	19
1. 営農計画の概要	19
2. 土地利用区分	19
3. 作付方式	20
4. 生産計画	21
5. 労働改善計画	22
6. 級地別土地利用区分	22
7. 土地配分計画	22
第3節 用 水 計 画	23
1. 計画基準年	23
2. 計画かんがい方式	23

3. 計画用水系統	23	第10節 老朽ため池改修計画	37
4. 計画用水量	23	1. 洪水吐改修計画	37
5. 水源計画	25	2. 堤体補強計画	37
 		3. 取水施設改修計画	37
第4節 排水計画	28	 	
1. 計画基準雨量	28	第5章 主要工事計画	38
2. 計画排水方式	28	 	
3. 計画排水系統	28	第1節 用水施設	38
4. 計画排水量	28	1. 頭首工	38
5. 排水対策	30	2. 貯水池	38
6. たん水検討	30	3. 揚水機	38
第5節 道路計画	31	4. 用水路	39
1. 道路及び索道	31	5. その他かんがい施設	39
2. 路線配置図	31	 	
第6節 農用地造成計画	33	第2節 排水施設	40
1. 農用地造成計画	33	1. 排水水門	40
2. 土壤改良	33	2. 排水機	40
第7節 洪水調節計画	33	3. 排水路	40
1. 計画基準雨量	33	4. その他	40
2. 計画洪水量及び調節量	33	 	
3. 貯水池	33	第3節 道路及び索道	41
4. 洪水調節検討	33	1. 道路	41
5. 管理計画	33	2. 索道	41
第8節 干拓計画	34	 	
第9節 農用地整備計画	34	第4節 農用地造成	42
1. 区画整理	34	1. 農用地造成工	42
2. 暗渠排水	35	2. 土壤改良	42
3. 客土	37	 	
4. 農地保全	37	第5節 洪水調節施設	42
5. 農業用水(雑用水)	37	1. 貯水池	42
		2. 頭首工及び導水施設	42
		第6節 干拓施設	42
		1. 堤防	42
		2. 潮止め	42
		3. 付属施設	42
		4. 埋立	42

第7節 農用地整備施設	43	第5節 換地計画樹立の年度計画	48
1. 区画整理	43	第6節 土地改良法第5条第6項に規定する 国有地等の編入承認に係る地積	49
2. 暗渠排水	43	第7節 換地処分の時期に関する特則	49
3. 客土	43		
4. 農地保全	43		
5. 農業用水（雑用水施設）	43		
第8節 老朽ため池改修施設	44	第10章 事業費の総額及び内訳	50
1. 貯水池	44	第11章 効用	51
2. 堤体補強施設	44	第12章 関連する事業	51
第6章 附帯工事計画	44	第13章 現況計画図面	52
第7章 工事の着手及び完了の予定期	44	1. 現況平面図	52
1. 区画整理	44	2. 計画平面図	52
第8章 環境との調和への配慮	45	3. 土地利用計画図	52
第9章 換地計画の概要	46	4. 主要構造図	52
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	46	県営ほ場整備事業によって造成された施設の予定管理方法等	53
第2節 換地区の設定	46		
1. 換地区的名称、所在、面積	46		
2. 換地区を設定する理由	46		
第3節 換地計画を樹立の基本方針	46		
1. 従前の土地の地積の基準	46		
2. 用途別予定地積	47		
3. 農用地集団化の方針	47		
4. 非農用地の換地方法	48		
第4節 土地の評価及び清算の方法	48		
1. 評価の方法	48		
2. 清算の方法	48		

第1章 目的

本地区は香川県丸亀市の南部に位置し、地区中央部を国道438号線が南北に通り、2級河川大東川の流域に展開する標高70m～96mの水田地帯である。本地区の農地は狭小かつ不整形であり、南から北に傾斜する地形勾配1/45程度の地域である。

用水は打越上池や打越下池等の池掛からなり、池ごとに水利慣行を形成しているため、各水系では用水管理に多大の労力を要している。これらの対策として、ほ場整備計画は多様化する農業環境を踏まえた計画とし、特に用水計画については、区画整理と併せて水利系統を再編成するとともに合理的な水利用が可能な管水路方式を採用し、用水管理労力の省力化を図る。

ほ場は中区画（20a）を標準とし、生活環境の改善に配慮した土地条件の整備を行い、兼業農家、高齢農家の営農再編成を図り、担い手による生産性の高い農業を目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

本地区は丸亀市の南部に位置し、地区面積 32.4ha、整地面積 14.8ha、かんがい排水のみ13.9haの地域である。

また、本地区は地区中央部を国道438号線が南北に通り、2級河川大東川の流域に展開する標高70m～96mの水田地帯であり、地形勾配が1/45程度の地域である。

第2節 地積

現況地目 町名	田 (ha)	畠 (ha)	樹園地 (ha)	小計 (ha)	山林 (ha)	原野 (ha)	道水路 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	計 (ha)	備考
丸亀市	29.8	0.2	-	30.0	-	-	1.8	0.4	0.2	2.4	32.4	
	15.9	0.2	-	16.1	-	-	1.8	0.4	0.2	2.4	18.5	区画整理
	13.9			13.9							13.9	農業用用水施設

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

観測所名		高松地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	S17年～H28年		6月～9月	10月～5月		
平均気温			24.5 °C	10.5 °C	15.1 °C	
降水量	平均	586.0 mm	578.0 mm	1,164 mm		
	基準年	352.4 mm	588.6 mm	941.0 mm	昭和37年（香川用水計画基準年）	
降水日数	平均	56 日	83 日	139 日		
	基準年	32 日	66 日	98 日	昭和37年（香川用水計画基準年）	
根雪期間		-	-	-	該当なし	
無霜期間		4月 1日～ 11月 30日	244 日間			
最多風向		-	-	W・S・W		

2. 特殊気象

観測所名 高松地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	観測期間 S17～H28年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量	mm 222.0	S62.10.16	1/90	210.5	H16.10.20		mm 210.0	S51.9.11	1/70	mm 188.5	H10.9.22		mm 171.5	S20.10.8	1/20	
最大時間雨量	68.5	H9.9.22	1/118	66.5	S25.8.6	1/94	54.5	H18.8.23		53.0	S58.8.7	1/20	52.7	S37.7.17	1/14	
最大4時間雨量	119.9	S25.8.6	1/40	111.5	S47.9.16	1/30	98.0	S40.9.9	1/15	89.0	S32.7.17	1/10	81.0	S36.9.3	1/8	
最大連続雨量	211.6	S28.9.24 ～9.25	1/30	209.2	S40.9.13 ～9.15	1/20	203.5	S47.9.15 ～9.16	1/20	175.7	S27.7.1 ～7.2	1/10	136.5	S51.9.11 ～9.12	1/8	
最大連続干天日数	44.0	日 S27.8.7 ～9.11	1/30	42.0	日 S31.7.10 ～8.20	1/15	39.0	日 S40.7.24 ～8.31	1/14	35.0	日 S20.7.21 ～8.24	1/8	34.0	日 S39.7.21 ～8.23	1/8	

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び侵蝕の程度

地目	田						畑・その他					受益地標高		備考	
	傾斜区分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/300	1/300 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最高	最低	
面積	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	m	m	区画整理実施区域のみ
比率	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	-	96	70	

項目 土壤統区名	土壤統(区)区分一覧表									面積		備考								
	土壤断面									堆積様式	母材	田	畑							
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性		泥炭層黒泥層及びグライ層													
					表土	下層土														
黄褐色土壤 強粘土マンガン型	赤褐色	表層含む	なし	-	L	SL	-	沖積層	花崗岩	ha	ha	-	農業用用水施設 9.0ha							
灰褐色土壤 (強粘土構造マンガン型)	灰色	表層含む	なし	-	L	SL	-	沖積層	花崗岩	19.7	-	区画整理 14.8ha 農業用用水施設 4.9ha								

2. 土地分類

該当事項なし

3. 土地利用の状況

土地利用別 面 積	耕 地							用材林	薪炭林	採草放牧地	荒 地	そ の 他	計	備 考							
	水田		普通畑	果樹園	桑園	茶園	その他の園地														
	1毛作田	2毛作田以上																			
丸亀市	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha							
	1,570		91	-			86						1,747								

4. 土地所有の状況

所有別 区 分	個 人 所 有 国 有 地 県 有 地 市 有 地						計	備 考
	面 積 (ha)	31.2	-	-	1.2	32.4		
関 係 戸 数 (戸)	104	-	-	-	-	104		
筆 数 (筆)	501	-	-	-	109	610		
権 利 関 係								

第3節 水利状況

1. 用水状況

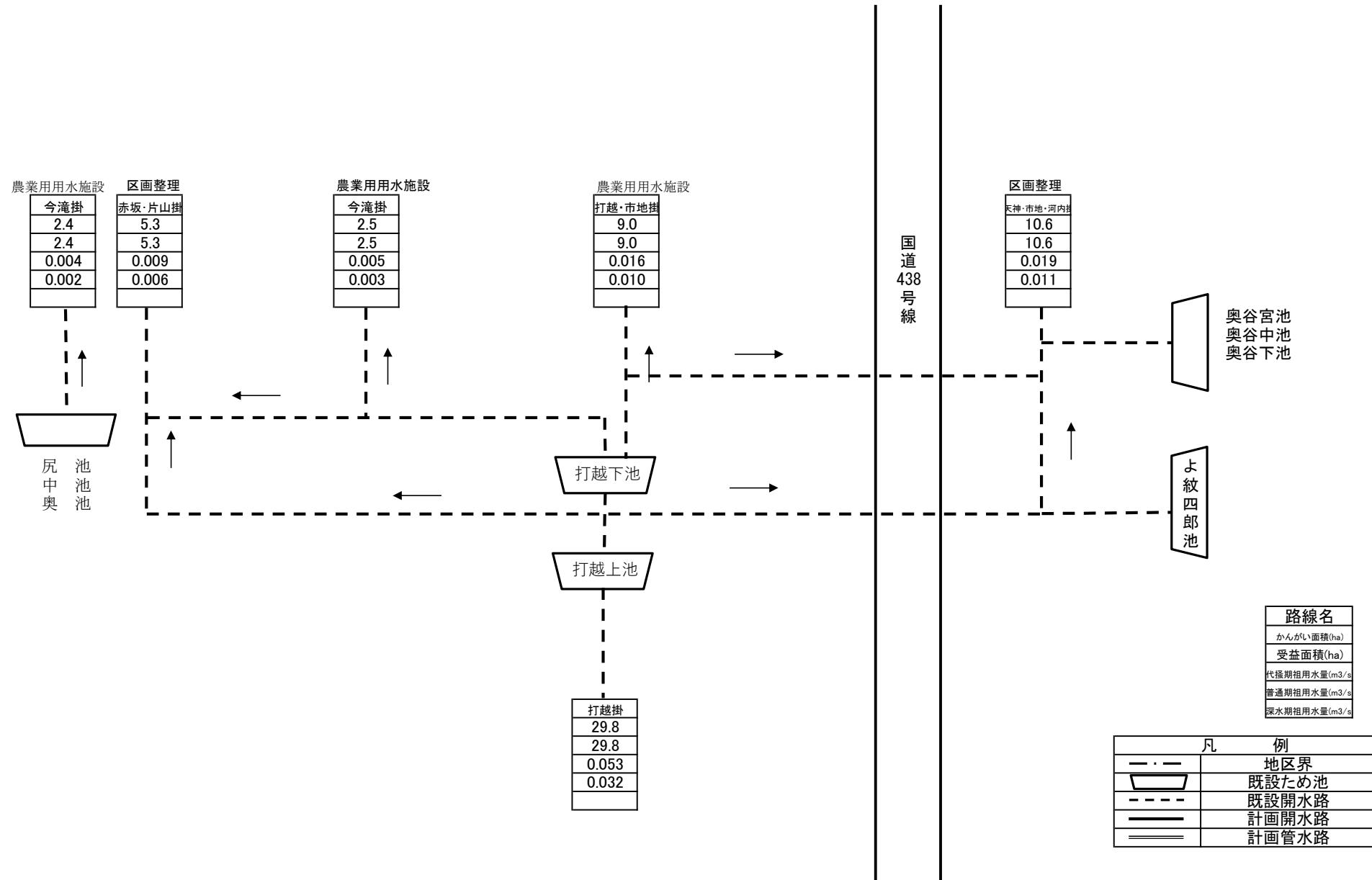
本地区の現況用水は、主水源として打越上池、打越下池、よ紋四郎池、奥谷宮池、奥谷中池、奥谷下池、尻池、中池、奥池の9ヶ所のため池により取水、導水されている。

また、香川用水事業の完成により、安定的に補給水が確保され用水不足は解消している。しかし、現況用水路が未整備なため、用水管理に多大な労力を要している。

(1) 用水系統

用水系統は別紙系統図のとおり。

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
	500 ha以上		499~1000 ha		99 ha以下				m3/s	箇所	m3/s	箇所		
井 堤	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s
出 水				9	29.8	9	29.8	9	0.054			0.054		
貯 水 池				5	13.9	5	13.9	5	0.025			0.025	農業用用水施設	
そ の 他				6	15.9	6	15.9	6	0.029			0.029	区画整理	
計	-	-	-	9	29.8	9	29.8	9	0.054	-	-	0.054		

※打越上池・打越下池は重複

(イ) 改修を要する施設一覧表

項目 施設名	箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要 とする理由	備 考
井 壇							
揚水機							
用水路	地区一円	14.8	コンクリート及び土水路	B=0.6～1.9m 延長 687m	不詳	老朽化	
計		14.8					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当事項なし

(イ) その他の被害状況

該当事項なし

(4) 溝池決壊の場合の想定被害状況

該当事項なし

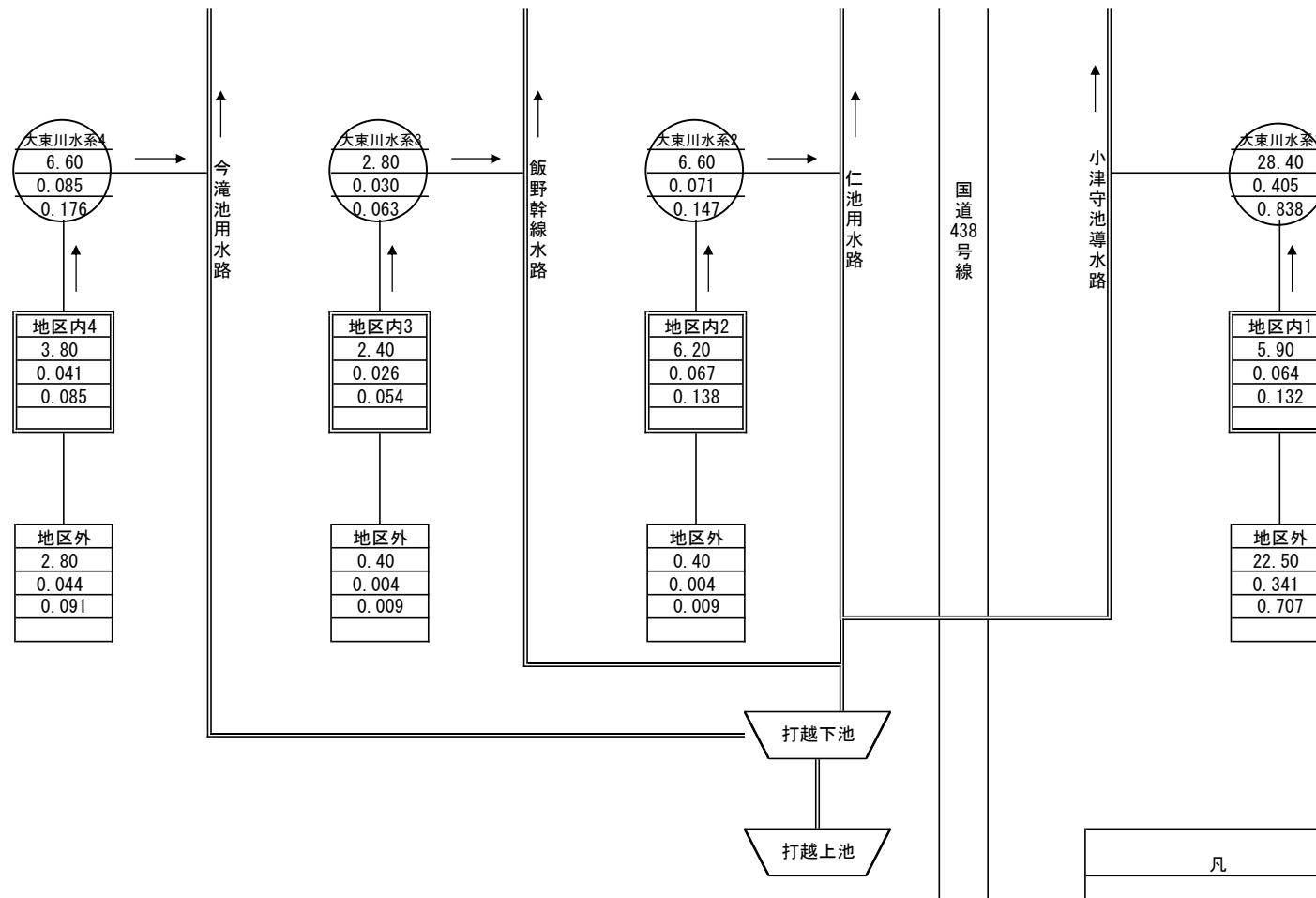
2. 排水状況

本地区的排水は自然排水であり、地区内の排水路は用排水兼用のコンクリート水路が主で一部土水路であるため、十分な排水が出来ておらず大部分の農地が湿田状態となり、耕作上支障を受けている。

(1) 排水系統

現況排水は別紙模式図のとおりである。

現況計画排水系統模式図



凡 例	
路線名	路線名
面 積	面 積
排水量1/2	排水量1/2
排水量1/10	排水量1/10

本地区 地区外

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

項目 施設名		排水面積						計		排水慣行	現況排水能力	備考
		500 ha以上		499 ~ 100 ha		99 ha以下						
自然	排水路		ha		ha	地区一円	44.4	地区一円	44.4		m ³ /s	
	水門		-								1.22	
機械	排水機											
	水門及び排水機											
計			-				44.4		44.4	-	1.22	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

項目 施設名		箇所数	構造	規模		新設または更新年月日	改修を必要とする理由	備考
		ha		既設利用	延長1,317m			
自然	排水路	18.5	コンクリート及び土水路	B=0.30~0.70m	延長2,056m	不詳	通水能力が不足	
	水門							
機械	排水機							
	水門及び排水機							
計		18.5		延長3,373m				

(3) 排水に関する被害状況
該当事項なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況

項目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
大 東 川	未改修	-	-	320		

(2) 洪水に関する被害状況
該当事項なし

項目 河川名	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作 物 (千円)	公共施設 (千円)	備 考
過去 の 最 大 被 害 額					
平 均 被 害 額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

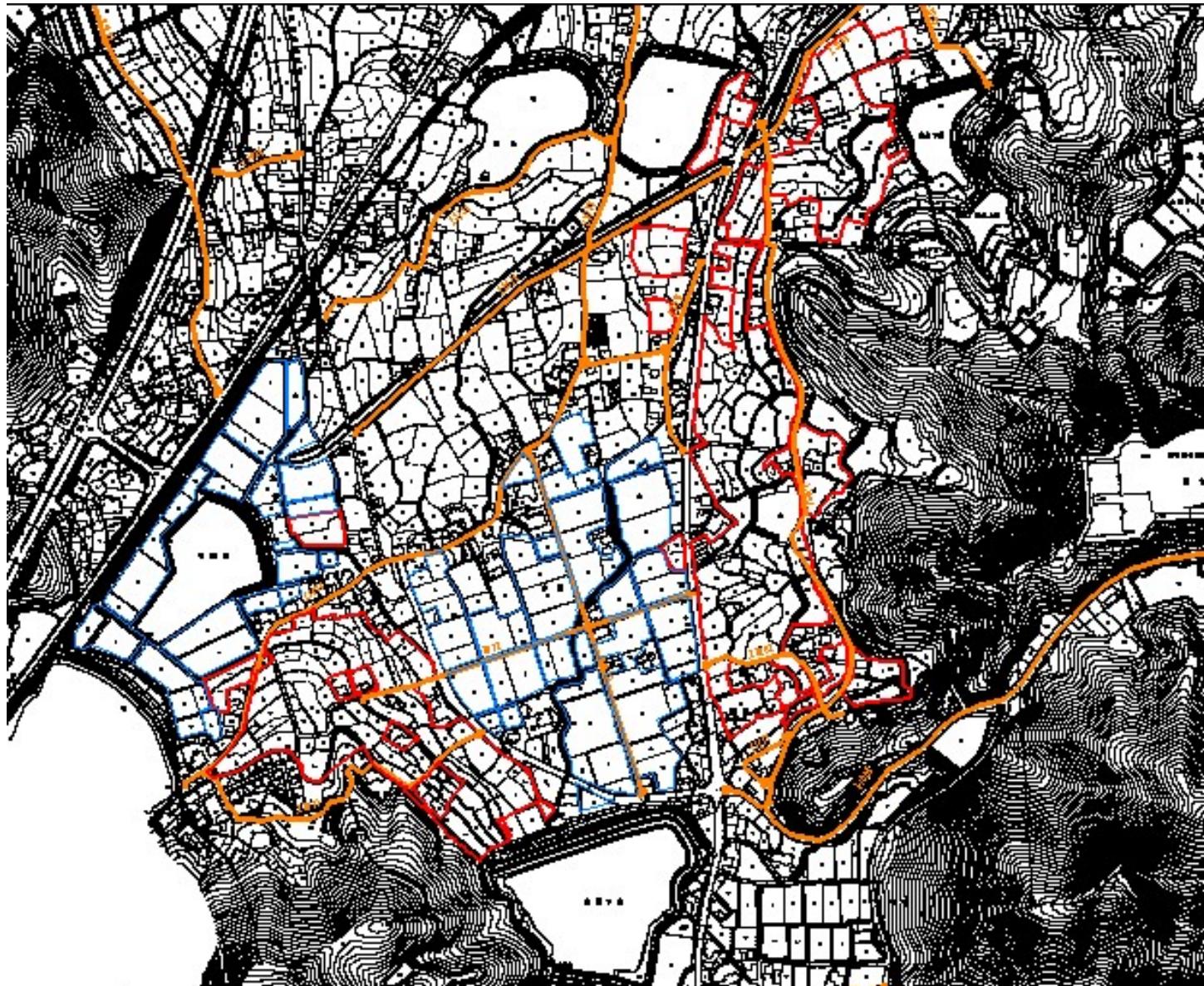
本地区の道路状況は、地区中央部を国道438号線が南北に通り、地区内では市道天神河内線などが通っている。

しかし、地区内の農道幅員は2.0m程度しかなく、農作業に不便を生じ多大の労力を要している現状である。

2. 主要道路一覧表

路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
			全幅	有効			
国道438号線	香川県	-	8.0	6.0	舗装道	否	
県道岡田丸亀線	〃	-	8.0	6.0	〃	〃	
市道天神河内線	丸亀市	1,013.50	3.30～9.75	-	〃	〃	
市道河内線	〃	242.20	2.75～5.70	-	〃	〃	
市道市地延命寺線	〃	921.30	3.00～5.45	-	〃	〃	

路線配置図



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

R2 農林業センサス

項目 市町村名	総数 人	第1次産業 人	内農業 人	第2次産業 人	第3次産業 人	備考
丸亀市	16,521	1,763	1,763	7,582	7,176	
比率 (%)	100	10.7	10.7	45.9	43.4	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス (R2) 、農林水産統計 (2020)

区分 市町村名	農業經營體總數	経営耕地広狭別經營体数 (戸)							1戸当平均農用地面積 (ha)				耕地の分散状況		専兼業別經營体数 (戸)		
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるも の	田	畠	樹園地	計	1戸当 団地数	団地当 面積	専業	兼業	
		戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	ha	ha	ha	ha	戸	ha	戸	戸	戸
丸亀市	1,547	27	513	699	163	44	101		1.01	0.59	0.05	1.65			91	129	831
比率 (%)	100	1.7	33.1	45.2	10.5	2.8	6.5	0.0							8.6	12.3	79.1

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス 平成 27年

農林業センサス 令和 2年

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	耕運機 農用トラクター		自脱型 コンバイン		田植機		動力防除機		乳用牛		肉用牛		豚		にわとり		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
丸亀市	1,869	1,470	1,462	1,249	1,517	1,331	-	-	-	-	420	8	-	-	148,000	3	
100戸当数量 (台、頭)		127		117		113											
利用戸数割合 (%)																	

4. 主要作物作付状況

R2

農林業センサス

町名			丸亀市				作付率	備考			
総耕地面積			1,747 ha								
作物名	区分		作付面積		単位面積当収量						
	表作	水稻	1,190		503						
田畑	裏作	小麦	266		409						
	春夏作	ブロッコリー	45		1,080						
		大豆	96		96						
	夏秋作	キャベツ	59		3,120						
		レタス	20		2,340						
樹園地											
計			-								
市町別延作付率											

5. 農業の動向

項目区分	農 家			土 地			主 要 作 物			畜 動 力			農 機 具			備 考
	H27	R2	地目	H27	R2	作物名	H27	R2	家畜名	H27	R2	農機具名	H27	R2		
変化の状況 H22年を100とする指標	総農家数	87	131	耕地	107	83	水稻	86	78	乳用牛	-	-	耕耘機 農用トラクター	-	-	
	専業農家数	-	-	田	107	81	麦	124	227	肉用牛	90	69	自脱型 コンバイン	-	-	
	第1種 兼業農家数	-	-	畑	2,900	4,550	レタス	83	49	豚	50	-	田植機	-	-	
	第2種 兼業農家数	-	-	樹園地	84	65		-	-	鶏	138	138	動力防除機	-	-	
	農業従事者数	105	85					-	-							
	8-8*	社会、経済情勢の変化による農業労働力の他産業への流出。			社会、経済情勢に伴う農地転用による減。			稲作転換事業の推進による。			農作業の機械化の進展。					
地域指定等	農業振興地域 指定 H17.5.2			果樹濃密生産団地 指定 S45 . S58 (かんきつ類、もも)												
	野菜指定産地 " S41 . S45 (たまねぎ、冬レタス)															
	" S52 (春レタス)			指定棚田地域 " R4.12.23 (岡田村)												
	" H18 . H25 (トマト、ねぎ)															
	特定農山村 " H5.9.28															
離島振興 "			S32.8.14													

第6節 地域環境の概況

1. 自然環境

本地区は、丸亀市南部（綾歌町）に位置し、米麦を中心とした農業が取り組まれている地域である。

地勢は、南から北に向かって緩やかに傾斜し、比較的緩やかな水田地帯が形成されている。

気象は、四季を通して温暖で雨が少ない瀬戸内式気候であり、台風や季節風の影響が少なく晴天の多いのも特徴である。

2. 社会環境

本地区の人口は近年の少子高齢化の進行に伴い減少しており、農業者においても高齢化による減少傾向が進んでいる。

観光資源としては、四国随一のアミューズメント施設レオマワールドが近隣にあり、県外から多数の観光客が訪れている。

このようなことから、安定した農業経営が可能な基盤づくりや、魅力ある特産品開発や農産物の直販体制の充実など農業者への支援が求められている。

3. 生産環境

本地区においては、米麦などの土地利用型農業を基幹農業としているが、農業者の高齢化や機械の更新、世代交代などの要因により農業従事者は減少傾向にあり、遊休農地の発生を抑制するために地域の担い手農家の確保する必要がある。

このようなことから、ほ場整備などの農業基盤整備を総合的、計画的に推進し、担い手農家への農地の集積をより一層推進し、高収益性作物の導入、流通・販売面の革新、産地として自立できる農業の確立に努める必要がある。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農業の近代化のためは場整備事業を行い、中型機械化体系の導入により労力の省力化と労働生産性の向上を図る。さらに、用排水の完全分離により、水田汎用化を図り、畑作導入を容易にして、経営体の育成を図り、農家経済の安定向上に寄与する。

2. 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	農業競争力強化農地整備事業						備 考
	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畠 (ha)	樹園地 (ha)		計 (ha)	
区 画 整 理		14.8	-	-		14.8	
農業用用排水		13.9	-	-		13.9	
計		28.7	-	-		28.7	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、担い手農家を中心とした生産組織を育成し、集団的な土地利用、機械、施設の有効利用等を推進しつつ、水稻と転作作物を組み合せた合理的な土地利用による農業生産の増大が重要な課題である。このため、本事業により区画、農道、用排水路等の整備を行ない、併せて農用地の集積を行ない経営規模を拡大することにより、中核農家の育成を図る。

2. 土地利用区分

事業名 項目 区分	地目	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畠 (ha)	樹園地 (ha)	小計 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	現 態	-	29.8	0.2	-	30.0	2.4	32.4	
農業競争力強化 農地整備事業	計 画	-	28.7	-	-	28.7	3.7	32.4	区画整理 18.5ha 農業用水 13.9ha
									区画整理 18.5ha 農業用水 13.9ha

3.作付方式

計画地目	作物名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			面積 ha	備考
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
輪換耕地	水稻										○	—	△																			12.6	○作付体系の表示			
輪換耕地	なす							○	—	△	—	△	—	—	×																3.1					
輪換耕地	ほうれん草																														2.5	播種:○—○				
輪換耕地	レタス				—	△	—				x																				1.8	移植:△—△				
輪換耕地	なばな				x	—	—	x																							2.8	収穫:x—×				
輪換耕地	ねぎ							○	—	—	△	△	—	x	—	—	x	—	—										1.0							
輪換耕地	コーン		○	—	—	△	—	△	—	—	x	—	—	x	—	—	x	—	—										0.7							
輪換耕地	ブロッコリー										○	—	△	—	—	—	—	—	—	x	—	x	—	—	x	—	—		1.4							
輪換耕地	小松菜										○	—	△	—	x	—	—	—	—	—	—	x	—	—	—	—	—	—		0.8						
輪換耕地	きゅうり							△	—	x	—	—	—	x	—	—	—	—	—	x	—	—								0.4						
輪換耕地	(小麦)										x	—	x																	9.2						
輪換耕地	(ほうれん草)											x	—	x																3.4						
輪換耕地	(レタス)							△	—	—	x	—	—	x	—	—	—	—	—										1.7							
輪換耕地	(なばな)											x	—	x																3.5						
輪換耕地	(ねぎ)										x	—	x																	0.8						
輪換耕地	(ブロッコリー)										x	—	x																	1.6						
輪換耕地	(にんにく)										x	—	x																	0.7						
輪換耕地	(小松菜)										x	—	x																	0.7						
計																															48.7	ha				

4. 生産計画 (区画整理)

地目名			項目	作付面積			作付率			単位面積当収穫量			生産量			同生産量 訳		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	収量増加		
表作	輪換耕地	水 稲	ha	ha	ha	%	%	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	t	t	t	t	t		
		3.6	6.4	2.8	24.2	45.4	498	508	10	17.9	32.5	14.6	14.2	0.4				
		なす	0.2	1.7	1.5	1.3	12.3	2,630	3,025	395	5.3	51.4	46.2	45.4	0.8			
		ほうれん草	0.2	1.4	1.2	1.3	9.8	1,170	1,346	176	2.3	18.8	16.5	16.2	0.4			
		レタス	0.1	0.3	0.2	0.5	2.0	2,340	2,691	351	2.3	8.1	5.7	5.4	0.4			
		なばな	0.1	1.6	1.5	0.5	11.5	652	750	98	0.7	12.0	11.3	11.3	0.1			
		ねぎ	0.1	0.7	0.6	0.5	5.2	1,460	1,679	219	1.5	11.8	10.3	10.1	0.2			
		コーン	0.1	0.4	0.3	0.5	2.7	1,160	1,334	174	1.2	5.3	4.2	4.0	0.2			
		フロッコリー	0.1	0.9	0.8	0.5	6.2	1,080	1,242	162	1.1	11.2	10.1	9.9	0.2			
		小松菜	0.1	0.5	0.4	0.5	3.9	1,040	1,196	156	1.0	6.0	4.9	4.8	0.2			
裏作		きゅうり	0.1	0.1	-	0.5	1.0	3,980	4,577	597	4.0	4.6	0.6	-	0.6			
		小麦	3.6	4.2	0.6	24.3	30.0	399	459	60	14.4	19.3	4.9	2.8	2.2			
		ほうれん草	-	2.3	2.3	-	16.7	1,170	1,346	176	-	31.0	31.0	31.0	-			
		レタス	-	0.9	0.9	-	6.3	2,340	2,691	351	-	24.2	24.2	24.2	-			
		なばな	0.5	2.1	1.6	3.1	15.3	652	750	98	3.3	15.8	12.5	12.0	0.5			
		ねぎ	-	0.7	0.7	-	5.0	1,460	1,679	219	-	11.8	11.8	11.8	-			
		フロッコリー	-	1.0	1.0	-	7.2	1,080	1,242	162	-	12.4	12.4	12.4	-			
		にんにく	0.1	0.1	-	0.5	0.5	727	836	109	0.7	0.8	0.1	-	0.1			
		小松菜	-	0.5	0.5	-	3.4	1,040	1,196	156	-	6.0	6.0	6.0	-			

面積は本地面積

4. 生産計画 (農業用用水施設)

地目名	項目	作付面積			作付率		単位面積当収穫量			生産量			同生産量 訳		備考
		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	収量増減	
表作	水 稲	ha 7.2	ha 6.2	△1.0	% 54.8	% 47.6	kg/10a 498	kg/10a 498	-	t 35.9	t 30.9	△5.0	△5.0	-	
	なす	0.2	1.4	1.2	1.4	11.0	2,630	2,630	-	5.3	36.8	31.6	31.6	-	
	ほうれん草	0.2	1.1	0.9	1.4	8.1	1,170	1,170	-	2.3	12.9	10.5	10.5	-	
	レタス	0.7	1.5	0.8	5.0	11.5	2,340	2,340	-	16.4	35.1	18.7	18.7	-	
	なばな	0.1	1.2	1.1	1.0	8.9	652	652	-	0.7	7.8	7.2	7.2	-	
	ねぎ	0.1	0.3	0.2	1.0	2.1	1,460	1,460	-	1.5	4.4	2.9	2.9	-	
	コーン	0.1	0.3	0.2	1.0	2.1	1,160	1,160	-	1.2	3.5	2.3	2.3	-	
	フロッコリー	0.1	0.5	0.4	1.0	4.0	1,080	1,080	-	1.1	5.4	4.3	4.3	-	
	小松菜	0.1	0.3	0.2	1.0	2.6	1,040	1,040	-	1.0	3.1	2.1	2.1	-	
	きゅうり	0.1	0.3	0.2	1.0	2.1	3,980	3,980	-	4.0	11.9	8.0	8.0	-	
裏作	小 麦	5.0	5.0	-	37.8	37.8	399	399	-	20.0	20.0	-	-	-	
	ほうれん草	-	1.1	1.1	-	8.5	1,170	1,170	-	-	12.9	12.9	12.9	-	
	レタス	-	0.8	0.8	-	6.0	2,340	2,340	-	-	18.7	18.7	18.7	-	
	なばな	0.5	1.4	0.9	3.9	10.6	652	652	-	3.3	9.1	5.9	5.9	-	
	ねぎ	-	0.1	0.1	-	0.5	1,460	1,460	-	-	1.5	1.5	1.5	-	
	フロッコリー	-	0.6	0.6	-	4.7	1,080	1,080	-	-	6.5	6.5	6.5	-	
	にんにく	0.6	0.6	-	4.7	4.7	727	727	-	4.4	4.4	-	-	-	
	小松菜	-	0.2	0.2	-	1.5	1,040	1,040	-	-	2.1	2.1	2.1	-	

面積は本地面積

5. 営農に係る労働時間計画

項目 地目	作物名	作付面積	単位面積当労働投下量 (hr/ha)				備 考
			区分	現況	計画	増減	
水 稲 (法人経営)		6.4 ha	人 力	608.9	266.8	△342.1	302,226
			機械力	132.2	101.2	△31.0	
小 麦 (法人経営)		4.2	人 力	324.2	103.7	△220.5	△ 126,056
			機械力	119.0	77.9	△41.1	
な す (法人経営)		1.7	人 力	10,162.7	8,830.0	△1332.7	7,836,579
			機械力	1,190.8	422.8	△768.0	
ほ う れ ん 草 (法人経営)		3.7	人 力	2,672.0	2,405.0	△267.0	6,761,694
			機械力	491.2	254.5	△236.7	
レ タ ス (法人経営)		1.2	人 力	2,319.9	1,849.0	△470.9	8,052,516
			機械力	520.9	314.0	△206.9	
な ば な (法人経営)		3.7	人 力	5,907.0	5,778.0	△129.0	292,107
			機械力	77.5	33.9	△43.6	
ね ぎ (法人経営)		1.4	人 力	5,641.3	4,948.0	△693.3	1,036,453
			機械力	1,110.2	895.0	△215.2	
コ 一 シ (法人経営)		0.4	人 力	1,470.6	1,088.0	△382.6	848,191
			機械力	53.5	24.6	△28.9	
ブ ロ ッ コ リ ー (法人経営)		1.9	人 力	850.0	561.7	△288.3	1,350,381
			機械力	150.0	44.9	△105.1	
に ん に く (法人経営)		0.1	人 力	2,959.2	2,210.0	△749.2	4,956,744
			機械力	430.3	172.0	△258.3	
小 松 菜 (法人経営)		1.0	人 力	2,877.3	2,780.8	△96.5	2,405,103
			機械力	260.5	164.0	△96.5	
き ゆ う り (法人経営)		0.1	人 力	16,279.4	15,150.0	△1129.4	△ 282,798
			機械力	1,332.5	1,082.0	△250.5	

6. 級地別土地利用区分
該当事項なし7. 土地配分計画
該当事項なし

5. 営農に係る労働時間計画

項目 地目	作物名	作付面積	新設整備効果発生面積	単位面積当労働投下量(hr/ha)				備考
				区分	現況	計画	増減	
水 稲 (法人経営)		ha 6.2	ha 1.8	人 力	608.9	266.8	△342.1	ha当たり節減額 630,809
				機械力	132.2	101.2	△31.0	
小 麦 (法人経営)		5.0	1.5	人 力	324.2	103.7	△220.5	339,390
				機械力	119.0	77.9	△41.1	
な す (法人経営)		1.4	0.4	人 力	10,162.7	8,830.0	△1332.7	8,341,459
				機械力	1,190.8	422.8	△768.0	
ほ う れ ん 草 (法人経営)		2.2	0.6	人 力	2,672.0	2,405.0	△267.0	11,970,785
				機械力	491.2	254.5	△236.7	
レ タ ス (法人経営)		2.3	0.7	人 力	2,319.9	1,849.0	△470.9	9,230,785
				機械力	520.9	314.0	△206.9	
な ば な (法人経営)		2.6	0.8	人 力	5,907.0	5,778.0	△129.0	337,503
				機械力	77.5	33.9	△43.6	
ね ぎ (法人経営)		0.4	0.1	人 力	5,641.3	4,948.0	△693.3	2,142,811
				機械力	1,110.2	895.0	△215.2	
コ 一 シ (法人経営)		0.3	0.1	人 力	1,470.6	1,088.0	△382.6	906,074
				機械力	53.5	24.6	△28.9	
ブ ロ ッ コ リ ー (法人経営)		1.1	0.4	人 力	850.0	561.7	△288.3	1,542,076
				機械力	150.0	44.9	△105.1	
に ん に く (法人経営)		0.6	0.2	人 力	2,959.2	2,210.0	△749.2	6,824,664
				機械力	430.3	172.0	△258.3	
小 松 菜 (法人経営)		0.5	0.2	人 力	2,877.3	2,780.8	△96.5	3,655,032
				機械力	260.5	164.0	△96.5	
き ゆ う り (法人経営)		0.3	0.1	人 力	16,279.4	15,150.0	△1129.4	107,790
				機械力	1,332.5	1,082.0	△250.5	

6. 級地別土地利用区分

該当事項なし

新設整備効果発生面積

7. 土地配分計画

該当事項なし

現況：個人→計画：担い手の面積+簡易

ほ場整備面積

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和37年

2. 計画かんがい方式

パイプライン

3. 計画用水系統

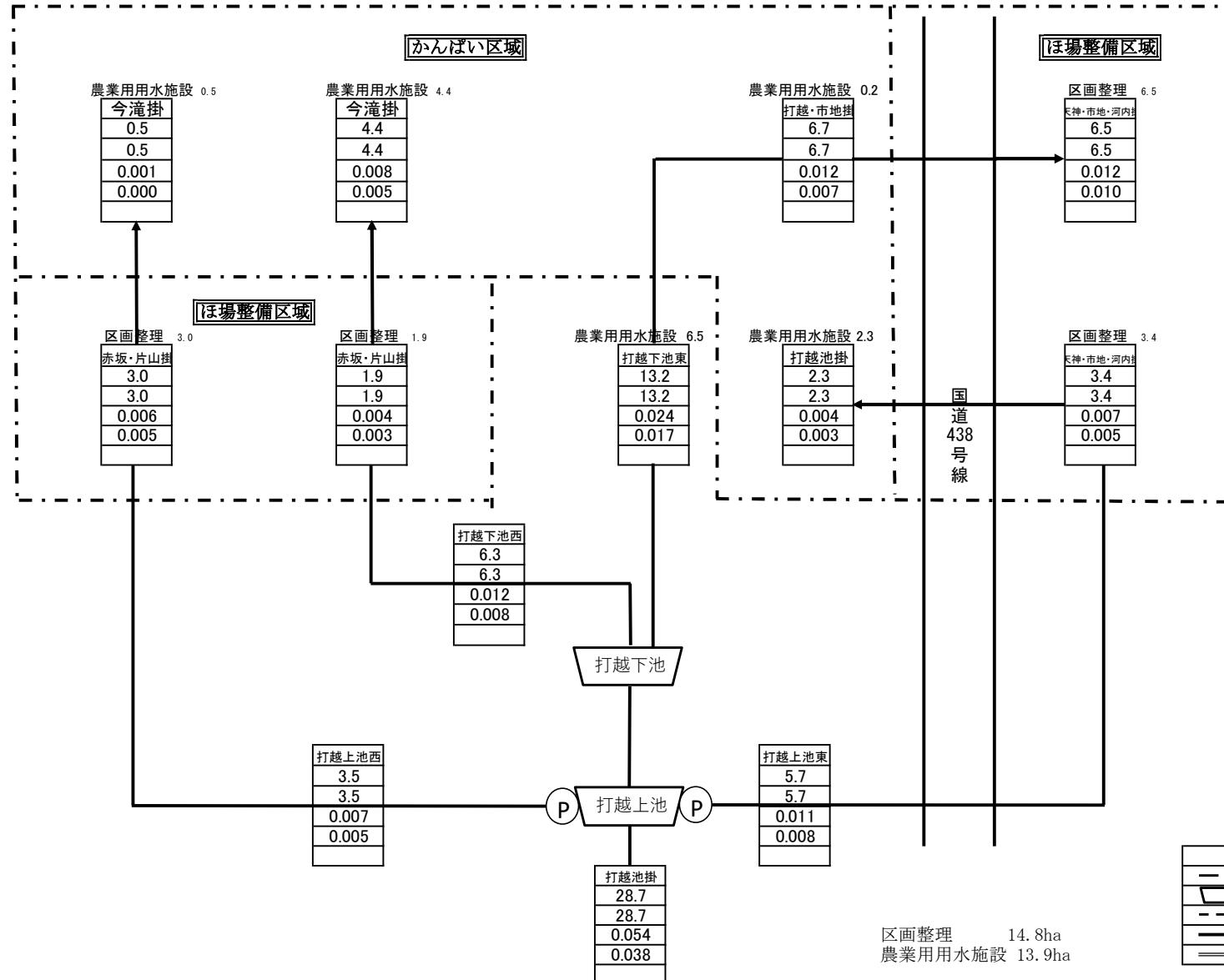
用水系統は別紙のとおり

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

項目 系統名	種別	面積	水田かんがい			畑地かんがい			田畑輪換						消費水量	損失量	粗用水量		備考			
			水田かんがい		畑地かんがい		水田かんがい			畑地かんがい												
			普通期 計画平均 単位用	代かき期 計画平均 単位用	面積	1日 かん 水深 計画 平均 単位 用	平均 間断 日数	面積	普通期 計画平均 単位用 水量 単	代かき期 計画平均 単位用 水量 単	面積	1日 かん 水深 計画 平均 単位 用	平均 間断 日数	面積			平均	最大				
支線用水路	農業用水	ha 28.7	mm/day -	mm -	ha	mm/day	日	ha	mm/day 16.0	ha 120	ha 14.8	mm/day 3.8	日 5	ha 7.0	m³/s 0.039	% 10.0	m³/s 0.023	m³/s 0.029	区画 農用 0.015 0.025			

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

項目区分	消費水量	有効雨量	純用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備 考
				水源名	取水地点 利用可能量	田 畑 面 利用可能量	純不足量	全不足水量	水源名	水量		
ほ場整備	千m ³ 388	千m ³ 49	千m ³ 339	ため池 出水 河川 香川用水	千m ³ 317 107	千m ³						
水田補水						-	-	-	-	-		

項目区分	現　況			計　画			備　考
	しろかき期	普通期	しろかき期	普通期			
純用水量	m ³ /s 0.042	m ³ /s 0.029	m ³ /s 0.043	m ³ /s 0.034			
損失水量	0.011	0.003	0.011	0.004			
全用水量	0.053	0.032	0.054	0.038			
利 用 可 能 量	ため池	0.054	0.027	0.054	0.027		
	井 壤						
	香川用水	0.000	0.011	0.000	0.011		
	計	0.054	0.038	0.054	0.038		
不 足 量	-	-	-	-	-		

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口

(イ) 貯水池

(ウ) 揚水機

項目	水源名	かんがい面積	所要水量		計画				備考
			最大	平均	実揚程	揚水量	台数	全揚水量	
西側揚水機	打越上池	ha 3.5	m ³ /s 0.037	m ³ /s	m 14.2	m ³ /s 0.037	台 1	m ³ /s 0.037	区画整理 3.0 農業用用水施設 0.5
東側揚水機	打越上池	5.7	0.037		18.3	0.037	1	0.037	区画整理 3.4 農業用用水施設 2.3
			(1.000)						

(エ) 用水路

項目 名称	かんがい面積	最大通水量	延長	構造	備考
支線用水路	ha 28.7	m ³ /s 0.092	m 9,693	VUR φ125～φ350	区画整理 5.208 農業用用水施設 4.485
"			687	SF600×600～ SF1900×1300	地区外 開水路
計	28.7		10,380		

(才) その他の水源施設

該当事項なし

(3) 水質水温

該当事項なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量1/10年確率 174.9mm/day (滝宮観測所の資料による) R3.4.1

2. 計画排水方式

排水本川である綾川へ自然排水を行なう。

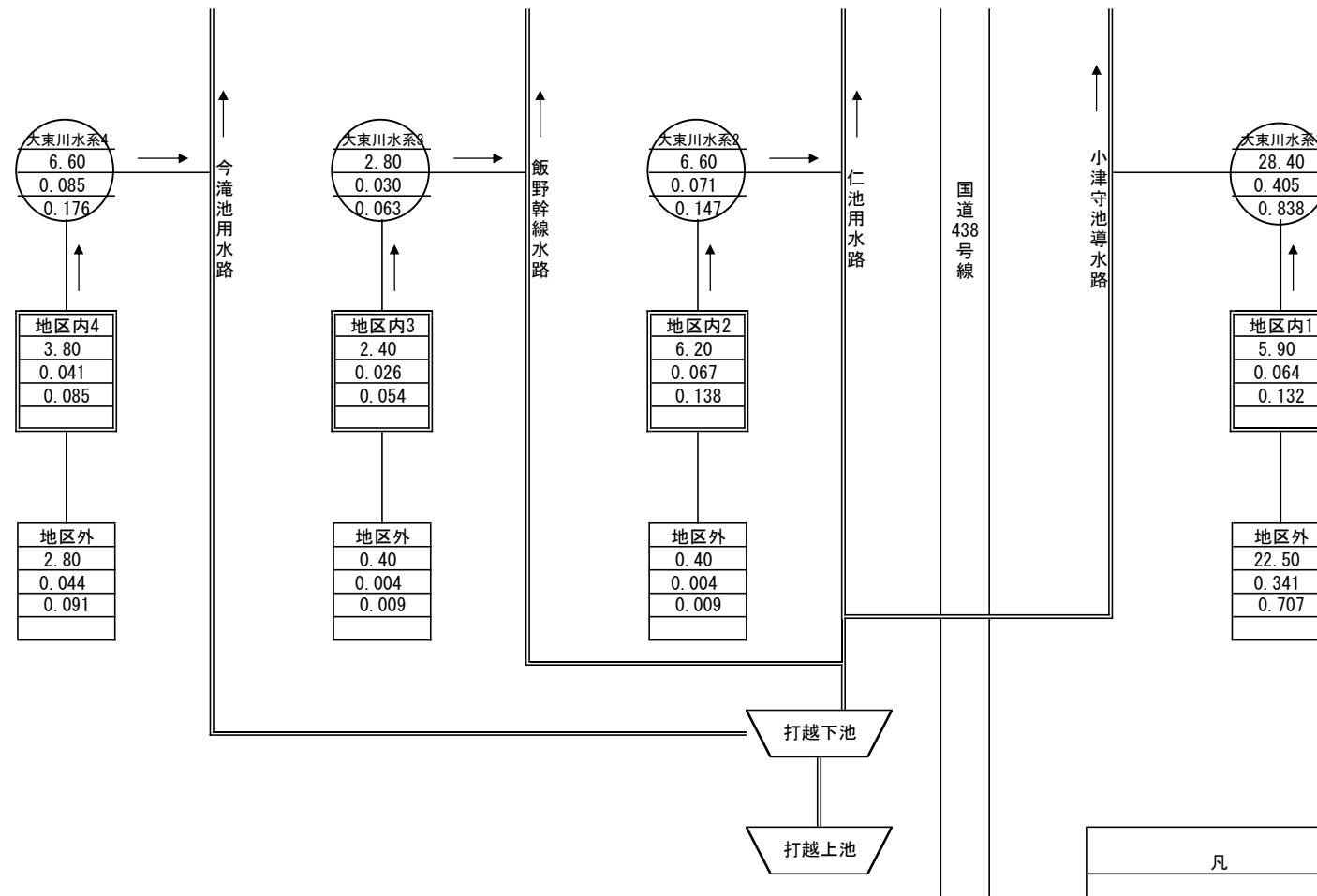
3. 計画排水系統

別紙計画排水系統図のとおり

4. 計画排水量

項目 支線 系統名	受 益 面 積	流 域 面 積		基 準 雨 量	降雨による直接 単位流出量		基底流出量		全 排 水 量			単位排水量		備 考		
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地			
										自然排水	機械排水					
大東川 1	ha	ha	ha	mm	m ³ /s/km ²	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s	m ³ /s/km ²	m ³ /s/km ²						
大東川 1	4.8	16.50	11.90	174.9	3.47	2.23			0.573	0.265		3.47	2.23			
大東川 2	5.1	-	6.60	174.9	3.47	2.23			-	0.147		3.47	2.23			
大東川 3	1.9	-	2.80	174.9	3.47	2.23			-	0.063		3.47	2.23			
大東川 4	3.0	2.30	4.30	174.9	3.47	2.23			0.080	0.096		3.47	2.23			
計	14.8	18.8	25.6						0.653	0.571						

現況計画排水系統模式図



凡例	
路線名	路線名
面積	面積
排水量1/2	排水量1/2
排水量1/10	排水量1/10

本地区 地区外

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当事項なし

(2) 排水機

該当事項なし

(3) 排水路

名称	項目 流域面積	受益面積	計画排水量	延長	構造	排水本川			備考
						名稱	計画洪水量	計画洪水位	
支線排水路	ha 8.7	ha 18.5	m ³ /s 0.001~0.586	m 3,373	SF300~SF700	大束川	m ³ /s 1.11~1.92	m -	支線排水路2056m 既設利用1317m

(4) その他

該当事項なし

6. たん水検討

該当事項なし

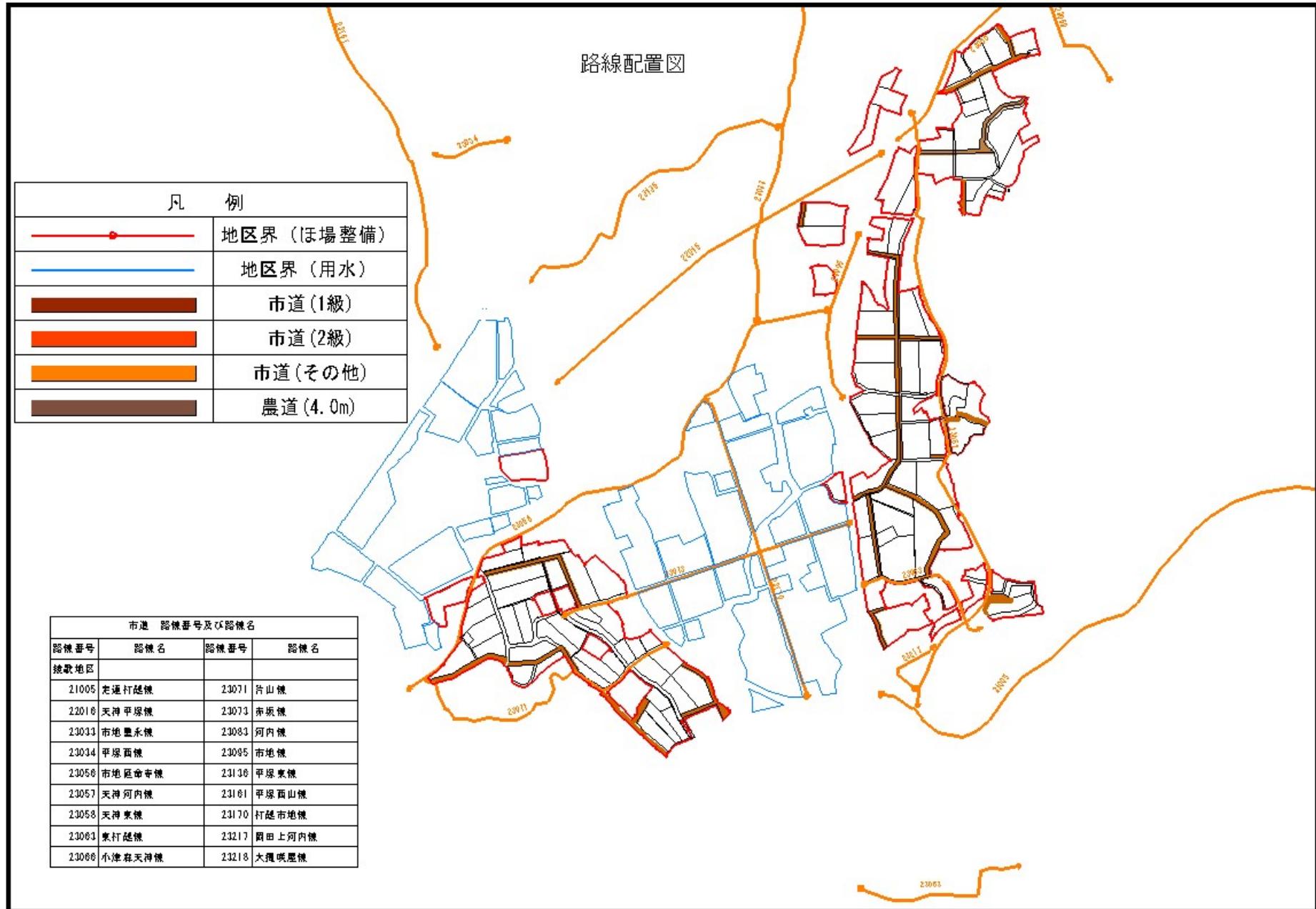
第5節 道路計画

1. 道路及び索道

項目 路線名	幅 (有効) × 延長	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	4.0m (3.0m) × 2,438m	砂利敷		
管理道路	3.0m (2.5m) × 317m	砂利敷		
計	2,755m			

2. 路線配置図

別紙のとおり



第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

該当事項なし

2. 土壌改良

該当事項なし

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当事項なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当事項なし

3. 賯 水 池

該当事項なし

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当事項なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当事項なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当事項なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当事項なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当事項なし

(3) 洪水調節要領

該当事項なし

第8節 干拓計画

該当事項なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

	長辺×短辺 (m)	区画面積	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差	備考
水田	80 × 25	20a 以上	7.6	69.1		
	50 × 20	20a 未満	3.4	30.9		
	50 × 20	ただし書適用地域	3.8			
	小計		14.8	100.0		
畑	傾斜					
	1/20以上		-			
	1/20～1/100		-			
	1/100～1/300		-			
	1/300～1/1000		-			
	1/1000以上		-			
	小計		-			
計			-			

ただし書適用理由 : A=畑作農業計画樹立 B=不良土層 C=田差1.0m以上 D=排水条件悪化

(2) 表土扱い

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
14.8	ち 密 度	15	22,200	14.8×10, 000 m ² ×0.15m

(3) 末端道水路配置図

別紙のとおり

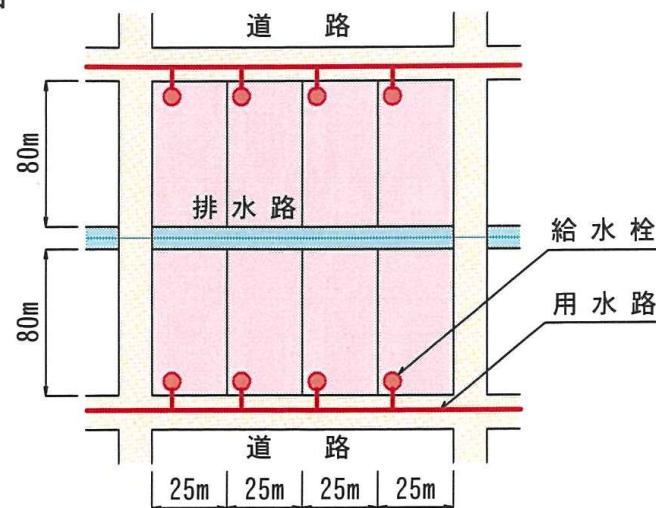
2. 暗渠排水

該当事項なし

項目 区分	面 積 (h a)	土壤統(区)分	基準雨量 (mm/day)	綾川 (1/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備 考

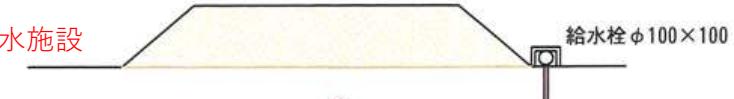
標準区画割図

区画整理



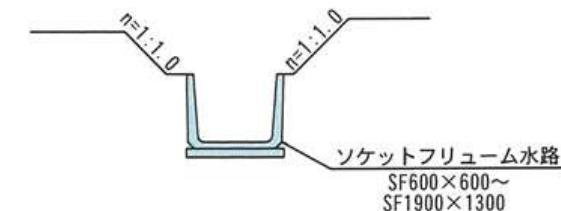
用水路工

区画整理
農業用用水施設



用水路工

区画整理

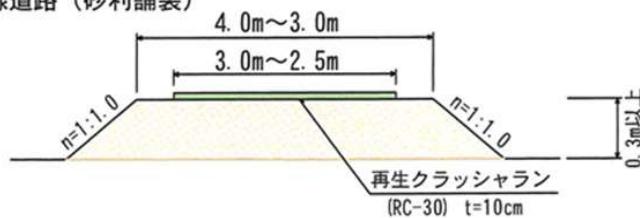


標準構造図

道路工

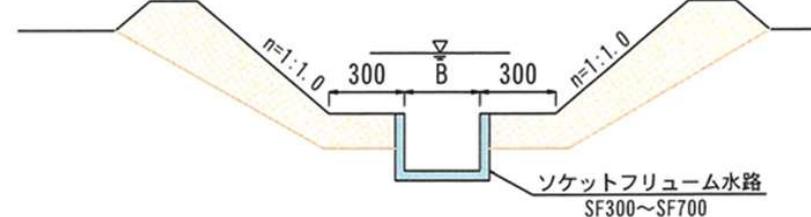
・支線道路（砂利舗装）

区画整理



排水路工

区画整理



3. 客 土

該当事項なし

4. 農地保全

(1) 防 災 林

該当事項なし

(2) 排 水 口

該当事項なし

(3) 侵食（崩壊）防止工

該当事項なし

5. 農業用水（雑水工）

該当事項なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当事項なし

(2) 計画洪水量

該当事項なし

2. 堤体補強計画

該当事項なし

3. 取水施設改修計画

該当事項なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 頭首工 該当事項なし
2. 貯水池 該当事項なし
3. 揚水機

項目 項目	位置	揚水量 m^3/s	揚 程		揚水機			原動機			備 考
			実揚程	全揚程	型式	口径	台 数	型式	動力	台 数	
揚水機場 西側	西側	0.037	14.2	21.0	渦巻	$\phi 80 \times 65$	2	モータ	7.5	1	
揚水機場 東側	東側	0.037	18.3	39.0	渦巻	$\phi 80 \times 65$	2	モータ	15.0	1	

4. 用水路

項目 水路名	支配面積	通水量	延長			構造	勾配	主要構造物	備考
			総延長	開渠	管水路				
支線用水路	ha 28.7	m ³ /s 0.018 ~0.092	m 10,380	m	m 9,693	VUR , VPR φ125~φ350	-	制水弁・空気弁・排泥弁	区画整理 5,208 農業用用水施設 4,485
"				687		SF600×600~SF1900×1300			地区外
計	28.7		10,380	687	9,693				

5. その他かんがい施設

該当事項なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当事項なし

2. 排水機

該当事項なし

3. 排水路

項目 水路名	受益面積	排水量	延長			構造	こう配	主要構造物	備考
			総延長	開水路	その他				
支線排水路	14.8	0.001 ~0.586	m 2,056	m 2,056	m	SF300～SF700	1/200	合流ボックス	

4. その他

該当事項なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

項目 道路名	種別	幅(有効) × 延長	構 造	延 長			最急 こう 配	同左 の 延長	最小曲 線半 径	備 考
				名 称	構 造	数 量				
全工区	支線道路	4.0 (3.0m) 2,438m	敷砂利	-	-	-				
全工区	管理道路	3.0 (2.5m) 317m	敷砂利	-	-	-				
計		2,755m								

(2) 道路主要構造物

該当事項なし

2. 索 道

該当事項なし

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 拔 根

該当事項なし

(2) 除 磨

該当事項なし

(3) 開墾作業

該当事項なし

2. 土壤改良

該当事項なし

第5節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当事項なし

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭 首 工

該当事項なし

(2) 導 水 路

該当事項なし

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

該当事項なし

2. 潮 止 め

該当事項なし

3. 付属施設

該当事項なし

4. 埋 立

該当事項なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

項目 区分	面 積	整地工		表土扱い		備 考
		標準区画	土 量	面 積	土 量	
全 工 区	ha 14.8	m 80 × 25	-	ha 14.8	m ³ 22,200	整地工は標準積算

2. 暗渠排水 該当事項なし

項目 区分	面 積	集水渠				吸水渠				集水渠出口以外の排水施設			備 考
		勾 配	管 種	管 径	延 長	勾 配	管 種	深 さ	間 隔	延 長	名 称	構 造	数 量
全 工 区	ha				m/ha			m	m	m			

3. 客 土

該当事項なし

4. 農地保全

(1) 防 災 林

該当事項なし

(2) 排 水 路

該当事項なし

(3) 侵食防止工

該当事項なし

5. 農業用水（雑用水施設）

該当事項なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯 水 池

該当事項なし

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当事項なし

(2) 漏水防止工

該当事項なし

第 6 章 附帯工事計画

該当事項なし

第 7 章 工事の着手および完了の予定時期

1. 区画整理

工事の着手	令和6年度
工事の完了	令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

ため池のある美しい田園環境と農村の文化を大切にし、農地とため池の調和が取れた生活基盤づくり、生物の多様性を維持する人と自然の関わりなど、田園環境と共存する環境形成のため、「第二次丸亀市総合計画後期基本計画」・「田園環境整備マスターplan」に基づき、水環境や自然の生態系を保全しつつ、ほ場整備を計画的に実施し、優良農地の確保並びに農地の持つ保水機能や自然環境を維持する緑地の保全、農村地域の生活環境の改善とため池や農業用排水路の水質保全に努める。

- ・農業生産基盤の整備と自然環境の保全、自然と共生する環境創造
- ・水と緑を活かしたうるおいのある生活空間の創造

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上で基本的な考え方

換地計画樹立のための基準を事業採択前に作成することにより、事業着手後における換地計画の樹立及び換地処分の実施を適正かつ円滑に行い、事業実施地区における農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化に資する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区的名称、所在、面積

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
全 区	丸亀市綾歌町岡田上・岡田下	18.5

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前地の土地の地積の基準

換 地 区 名	地 積 の 基 準
全 区	換地交付の基準とする従前地の地積は、土地改良事業計画決定日の登記簿地積とする。ただし、左記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

単位 : ha

用 途 (取得予定者) 換地区名 前 後	非農用地区域外に換地する土地									非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地			一般国有地 合 計	総合計							
	田	畑	山林・原野	その他の 通常事業施行地域に含める土地(令第1条の9()書き)	計	本事業によって生ずる土地改良施設用地	創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地区域				合計	国	県	市町村								
									改良区	その他	計		農業經營合理化施設用地	生活上・經營上必要な施設用地	公共・公共用施設用地	宅地等												
全 区	従前の土地	15.9	0.2	0.2	-	0.4	-	0.4	16.7	-	-	-	16.7	0.4	-	0.4	0.2	-	-	-	0.6	-	-	1.2	1.2	-	18.5	
	換 地	14.8	-	-	-	0.4	-	0.4	15.2	1.5	-	1.5	-	16.7	0.4	-	0.4	0.2	-	-	-	0.6	-	-	1.2	1.2	-	18.5

3. 農用地集団化の方針

区 分 換地区名	地帯別・グループ別団地 の 設 定	個人別換地の方針																			
		位 置 の 選 択 方 法						1 戸 当 り 目 標 団 地 数				区画畦畔の取扱い									
全 区	該当なし	換地は各人の従前地が最も密集した位置を中心を集団化する。 密集した位置がいくつかに分かれているときは2ヶ所を限度としてできるだけその者の住居に近い密集地を選んで集団化する。								1~2 団地				畦畔は、移動畦畔とする。換地は、原則として標準区画を単位に交付するが、標準区画に交付して余る場合、又は標準区画に不足する場合は標準区画を分割して交付する。 標準区画の分割は原則として長辺に沿って分割するが、この場合、短辺の部分が10m以下になるような分割はしない。 上記の分割制限に達しない小面積の土地は、その土地を配分すべき位置に最も近い位置の端田区、又は長辺が道路に接した区画を長辺と直角に分割して交付する。 分割後の区画は道路に必ず接するように、又、水路にもできるだけ接するように配慮する。							

(別紙)

県営農業競争力強化農地整備事業 岡田上地区 非農用地一覧表

番号	住所	氏名	面積(m ²)	摘要	用途
1			1492.00	区画整形	特定用途用地換地
2-1			450.00	区画整形	特定用途用地換地
2-2			210.00	区画整形	異種目換地
3-1			155.00	区画整形	特定用途用地換地
3-2			96.00	区画整形	異種目換地
4			500.00	区画整形	異種目換地
5-1			790.00	区画整形	異種目換地
5-2			120.00	区画整形	異種目換地
6			592.00	区画整形	特定用途用地換地
7-1			130.00	区画整形	特定用途用地換地
7-2			60.00	区画整形	異種目換地
8-1			491.00	区画整形	特定用途用地換地
8-2			39.00	区画整形	異種目換地
9			793.00	区画整形	特定用途用地換地

第4節 土地の評価及び清算方法

1. 評価の方法
標準地よりの増減点方式

2. 清算の方法
比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

換地区分	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
全 区		令和8～10年度	令和11年度	令和11年度	工事予定年度 令和7年度～令和11年度

()書き : 変更前
(単位 : m²)

第6節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

換地区名	区分 用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
		国 有 地	都道府県有地	市町有地	計		
全 区	道 路	-	-	(9,386.54)	(9,386.54)	-	(9,386.54)
				9,612.58	9,612.58	-	9,612.58
	水 路	-	-	(2,663.29)	(2,663.29)	-	(2,663.29)
	河 川	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	(12,049.83)	(12,049.83)	-	(12,049.83)
				12,321.80	12,321.80	-	12,321.80

第7節 換地処分の時期に関する特則

区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第54条第2項本文の規定にかかわらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(千円)

種目	事業量	事業費	種目	事業量	事業費
工事費	28.7 ha	772,000	測量試験費	1.0式	60,000
区画整理工	14.8 ha	570,000	用地買収補償費	1.0式	32,000
(整地工)	(14.8 ha)	(154,000)	換地費	18.5 ha	36,000
(道路工)	(2.8 km)	(60,000)	計		900,000
(用水路工) 開水路	(0.7 km)	(67,000)	工事雑費	1.0式	18,000
(用水路工) (水路工等)	(5.2 km)	(228,000)	地方事務費	1.0式	27,000
(排水路工)	(2.1 km)	(61,000)	計		945,000
農業用用排水	13.9 ha	202,000	経営高度化支援	1.0式	22,500
(水路工等)	(4.5 km)	(202,000)	合計		967,500

第11章 効用

項目 区分	増加純益額 千円	増加所得額 千円	備考
作物生産効果	20,031	44,850	
営農経費節減効果	77,836	80,442	
維持管理費節減効果	△2,257	△1,727	
耕作放棄防止効果	90	-	
農業労働環境改善効果	1,177	-	
国産農産物安定供給効果	7,209	-	
計	104,086	123,565	総費用 1,114,913千円、総便益額1,861,931千円 総費用総便益比=総便益額/総費用=1.67

第12章 関連する事業 農業競争力強化農地整備事業 「岡田上地区」 (区画整理事業) (農業用排水施設整備事業)

第13章 現況計画図面

1. 現況平面図

別紙のとおり

2. 計画平面図

別紙のとおり

3. 土地利用計画図

別紙のとおり

4. 主要構造図

別紙のとおり

県営ほ場整備事業によって造成された施設の予定管理方法等

1. 管理者 丸亀市綾歌町土地改良区

2. 管理すべき施設の種類

(1) 道 路 L= 3,387 m

(2) 用水路 L=10,380 m (開水路 687m パイプライン 9,693m)

(3) 排水路 L= 6,097 m

(4) 揚水機 2台 2揚水機場

3. 貯水, 放流, 取水又は排水に関する基本的事項

用水は、貯水池の有効利用を図るため、灌漑効率のよいパイプライン方式、また各圃場の排水はフリューム排水路による排水路とする。

道路, 用水路, 排水路については、適切に管理するものとする。

揚水機については、揚水量, 揚水期間, 運転時間その他管理方法については、別に揚水機規定を定めるものとする。

4. 管理に要する費用の概算及びその負担の方法及びその他管理方法に関する基本的事項

工 種	標準年間経費 の 概 算	耐用年数	施設の耐用年数 期間の合計額
道 路	1,167千円	40年	46,680千円
用水路	250千円	30年	7,500千円
排水路	193千円	30年	5,790千円
揚水機	1,119千円	20年	22,380千円
計	2,729千円		82,350千円

地元に管理委託し、受益者が全額負担する。

農業競争力強化農地整備事業土地改良事業計画書（第1回変更）（案）

おかだかみ
岡田上地区

(区画整理事業)

香川県

目 次

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	3
3. 海 象	3
第2節 土 地 状 況	4
1. 地形、土壤及び侵蝕の程度	4
2. 土地分類	5
3. 土地利用の状況	5
4. 土地所有の状況	5
第3節 水 利 状 況	6
1. 用水状況	6
2. 排水状況	9
3. 河川状況	12
第4節 道 路 現 況	13
1. 道路概況	13
2. 主要道路一覧表	13
第5節 地域農業の概況	15
1. 産業別就業人口	15

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散	15
状況並びに専兼業別農家数	15
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	16
4. 主要作物作付状況	16
5. 農業の動向	17
第6節 地域環境の概要	18
1. 自然環境	18
2. 社会環境	18
3. 生産環境	18
第4章 一 般 計 画	19
第1節 事業計画の要旨	19
1. 要 旨	19
2. 事業別面積	19
第2節 営農計画及び土地利用計画	19
1. 営農計画の概要	19
2. 土地利用区分	19
3. 作付方式	20
4. 生産計画	21
5. 労働改善計画	22
6. 級地別土地利用区分	22
7. 土地配分計画	22
第3節 用 水 計 画	23
1. 計画基準年	23
2. 計画かんがい方式	23

3. 計画用水系統	23	第10節 老朽ため池改修計画	37
4. 計画用水量	23	1. 洪水吐改修計画	37
5. 水源計画	25	2. 堤体補強計画	37
 		3. 取水施設改修計画	37
第4節 排水計画	28	 	
1. 計画基準雨量	28	第5章 主要工事計画	38
2. 計画排水方式	28	 	
3. 計画排水系統	28	第1節 用水施設	38
4. 計画排水量	28	1. 頭首工	38
5. 排水対策	30	2. 貯水池	38
6. たん水検討	30	3. 揚水機	38
第5節 道路計画	31	4. 用水路	39
1. 道路及び索道	31	5. その他かんがい施設	39
2. 路線配置図	31	 	
第6節 農用地造成計画	33	第2節 排水施設	40
1. 農用地造成計画	33	1. 排水水門	40
2. 土壤改良	33	2. 排水機	40
第7節 洪水調節計画	33	3. 排水路	40
1. 計画基準雨量	33	4. その他	40
2. 計画洪水量及び調節量	33	 	
3. 貯水池	33	第3節 道路及び索道	41
4. 洪水調節検討	33	1. 道路	41
5. 管理計画	33	2. 索道	41
第8節 干拓計画	34	 	
第9節 農用地整備計画	34	第4節 農用地造成	42
1. 区画整理	34	1. 農用地造成工	42
2. 暗渠排水	35	2. 土壤改良	42
3. 客土	37	 	
4. 農地保全	37	第5節 洪水調節施設	42
5. 農業用水（雑用水）	37	1. 貯水池	42
		2. 頭首工及び導水施設	42
		第6節 干拓施設	42
		1. 堤防	42
		2. 潮止め	42
		3. 付属施設	42
		4. 埋立	42

第7節 農用地整備施設	43	第5節 換地計画樹立の年度計画	48
1. 区画整理	43	第6節 土地改良法第5条第6項に規定する 国有地等の編入承認に係る地積	49
2. 暗渠排水	43	第7節 換地処分の時期に関する特則	49
3. 客土	43		
4. 農地保全	43		
5. 農業用水（雑用水施設）	43		
第8節 老朽ため池改修施設	44	第10章 事業費の総額及び内訳	50
1. 貯水池	44	第11章 効用	51
2. 堤体補強施設	44	第12章 関連する事業	51
第6章 附帯工事計画	44	第13章 現況計画図面	52
第7章 工事の着手及び完了の予定期	44	1. 現況平面図	52
1. 区画整理	44	2. 計画平面図	52
第8章 環境との調和への配慮	45	3. 土地利用計画図	52
第9章 換地計画の概要	46	4. 主要構造図	52
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	46	県営ほ場整備事業によって造成された施設の予定管理方法等	53
第2節 換地区の設定	46		
1. 換地区的名称、所在、面積	46		
2. 換地区を設定する理由	46		
第3節 換地計画を樹立の基本方針	46		
1. 従前の土地の地積の基準	46		
2. 用途別予定地積	47		
3. 農用地集団化の方針	47		
4. 非農用地の換地方法	48		
第4節 土地の評価及び清算の方法	48		
1. 評価の方法	48		
2. 清算の方法	48		

第1章 目的

本地区は香川県丸亀市の南部に位置し、地区中央部を国道438号線が南北に通り、2級河川大東川の流域に展開する標高70m～96mの水田地帯である。本地区の農地は狭小かつ不整形であり、南から北に傾斜する地形勾配1/45程度の地域である。

用水は打越上池や打越下池等の池掛からなり、池ごとに水利慣行を形成しているため、各水系では用水管理に多大の労力を要している。これらの対策として、ほ場整備計画は多様化する農業環境を踏まえた計画とし、特に用水計画については、区画整理と併せて水利系統を再編成するとともに合理的な水利用が可能な管水路方式を採用し、用水管理労力の省力化を図る。

ほ場は中区画（20a）を標準とし、生活環境の改善に配慮した土地条件の整備を行い、兼業農家、高齢農家の営農再編成を図り、担い手による生産性の高い農業を目指す。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

本地区は丸亀市の南部に位置し、地区面積 18.5ha、整地面積 14.8haの地域である。

また、本地区は地区中央部を国道438号線が南北に通り、2級河川大東川の流域に展開する標高70m～96mの水田地帯であり、地形勾配が1/45程度の地域である。

第2節 地積

現況地目 町名	田 (ha)	畠 (ha)	樹園地 (ha)	小計 (ha)	山林 (ha)	原野 (ha)	道水路 (ha)	非農用地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	計 (ha)	備考
丸亀市	15.9	0.2	-	16.1	-	-	1.8	0.4	0.2	2.4	18.5	区画整理

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

観測所名	高松地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計	備考
観測期間	S17年～H28年	6月～9月	10月～5月		
平均気温		24.5 °C	10.5 °C	15.1 °C	
降水量	平均	586.0 mm	578.0 mm	1,164 mm	
	基準年	352.4 mm	588.6 mm	941.0 mm	昭和37年（香川用水計画基準年）
降水日数	平均	56 日	83 日	139 日	
	基準年	32 日	66 日	98 日	昭和37年（香川用水計画基準年）
根雪期間		-	-	-	該当なし
無霜期間		4月 1日～ 11月 30日	244 日間		
最多風向		-	-	W・S・W	

2. 特殊気象

観測所名 高松地方気象台	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
観測期間 S17～H28年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量	mm 222.0	S62.10.16	1/90	mm 210.5	H16.10.20		mm 210.0	S51.9.11	1/70	mm 188.5	H10.9.22		mm 171.5	S20.10.8	1/20	
最大時間雨量	68.5	H9.9.22	1/118	66.5	S25.8.6	1/94	54.5	H18.8.23		53.0	S58.8.7	1/20	52.7	S37.7.17	1/14	
最大4時間雨量	119.9	S25.8.6	1/40	111.5	S47.9.16	1/30	98.0	S40.9.9	1/15	89.0	S32.7.17	1/10	81.0	S36.9.3	1/8	
最大連続雨量	211.6	S28.9.24 ～ 9.25	1/30	209.2	S40.9.13 ～9.15	1/20	203.5	S47.9.15 ～9.16	1/20	175.7	S27.7.1 ～7.2	1/10	136.5	S51.9.11 ～9.12	1/8	
最大連続干天日数	44.0	日 S27.8.7 ～ 9.11	1/30	日 42.0	S31.7.10 ～8.20	1/15	日 39.0	S40.7.24 ～8.31	1/14	日 35.0	S20.7.21 ～8.24	1/8	日 34.0	S39.7.21 ～8.23	1/8	

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壤及び侵蝕の程度

地 目	田						畑・その他の					受益地標高		備 考
	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/300	1/300 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最高	最低	
面 積	ha -	ha 2.6	ha 8.9	ha 4.4	ha 15.9	ha -	ha -	ha -	ha -	ha -	ha -	m 96	m 70	区画整理実施区域のみ
比 率	% -	% -	% 16.4	% 56.0	% 27.7	% 100.0	% -	% -	% -	% -	% -			

項目 土壤統区名	土 壤 統 (区) 区 分 一 観 表								面 積		備 考						
	土 壤 断 面						堆積様式	母材	田	畑							
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性												
					表土	下層土											
灰褐色土壤 (強粘土構造マンガニ型)	灰色	表層含む	なし	-	L	SL	-	沖積層	花崗岩	19.7	-	区画整理 14.8ha					

2. 土地分類

該当事項なし

3. 土地利用の状況

土地利用別 面 積	耕 地						用材林	薪炭林	採草放牧地	荒 地	その他の 園地	計	備 考							
	水田		普通畑	果樹園	桑園	茶園														
	1毛作田	2毛作田以上																		
丸亀市	ha 1,570	ha	ha 91	ha -	ha	ha	ha 86	ha	ha	ha	ha	ha 1,747								

4. 土地所有の状況

所有別 区 分	個 人 所 有	国 有 地	県 有 地	市 有 地	計	備 考
	(ha)					
面 積	17.3	-	-	1.2	18.5	
関 係 戸 数	69	-	-	-	69	
筆 数	398	-	-	109	507	
権 利 関 係						

第3節 水利状況

1. 用水状況

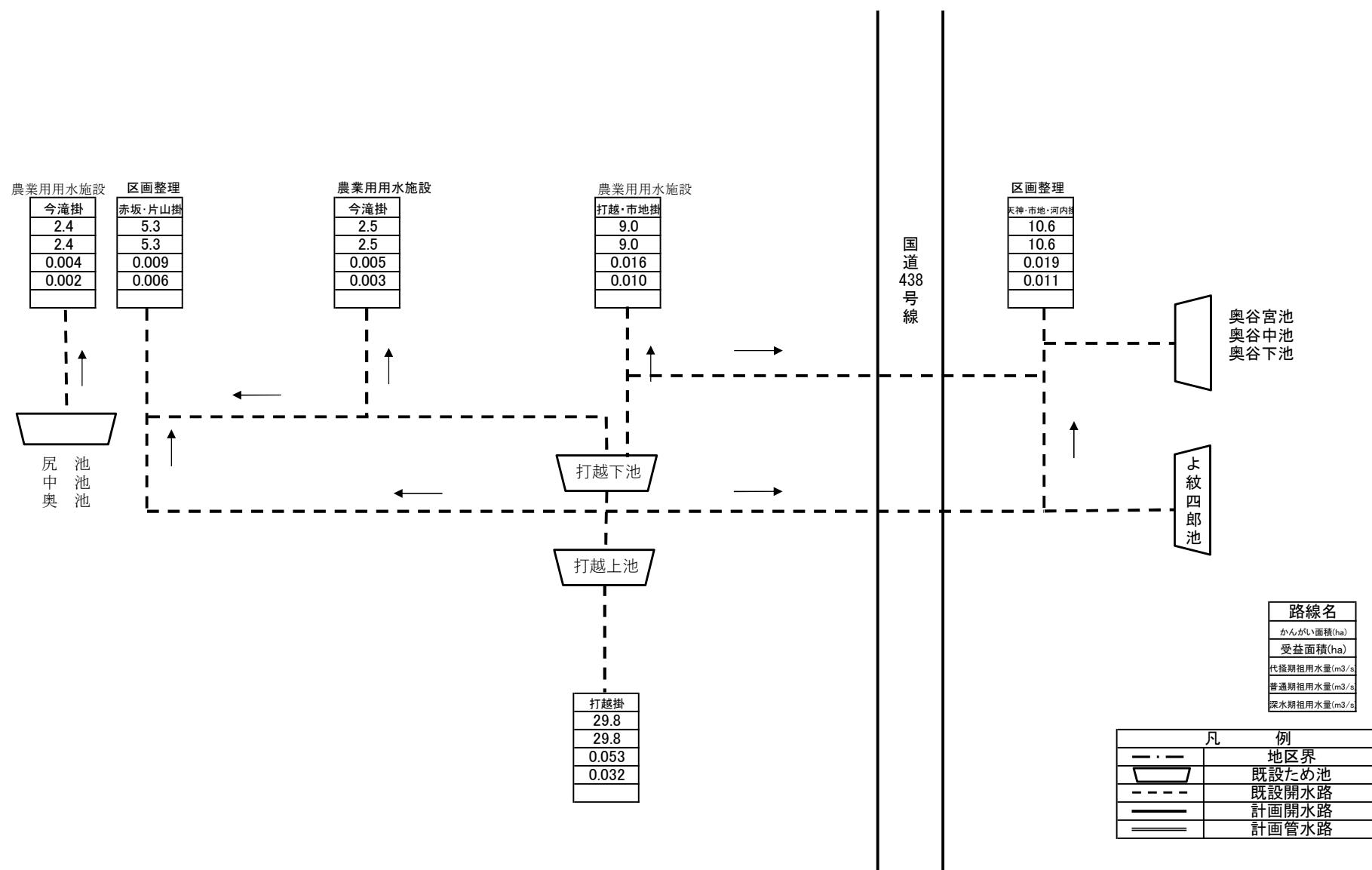
本地区の現況用水は、主水源として打越上池、打越下池、よ紋四郎池、奥谷宮池、奥谷中池、奥谷下池の6ヶ所のため池により取水、導水されている。

また、香川用水事業の完成により、安定的に補給水が確保され用水不足は解消している。しかし、現況用水路が未整備なため、用水管理に多大な労力を要している。

(1) 用水系統

用水系統は別紙系統図のとおり。

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延取水量	備考
	500 ha以上		499~1000 ha		99 ha以下									
井 壇	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
							-	-	-					
出 水 貯 水 池					6	15.9	6	15.9	6	0.029			0.029	区画整理
そ の 他							-	-	-	-	-	-		
計	-	-	-		6	15.9	6	15.9	6	0.029	-	-	0.029	

(イ) 改修を要する施設一覧表

施設名	項目 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要 とする理由	備 考
井 壕							
揚水機							
用水路	地区一円	14.8	コンクリート及び土水路	B=0.6~1.9m 延長 687m	不詳	老朽化	
計		14.8					

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当事項なし

(イ) その他の被害状況

該当事項なし

(4) 溝池決壊の場合の想定被害状況

該当事項なし

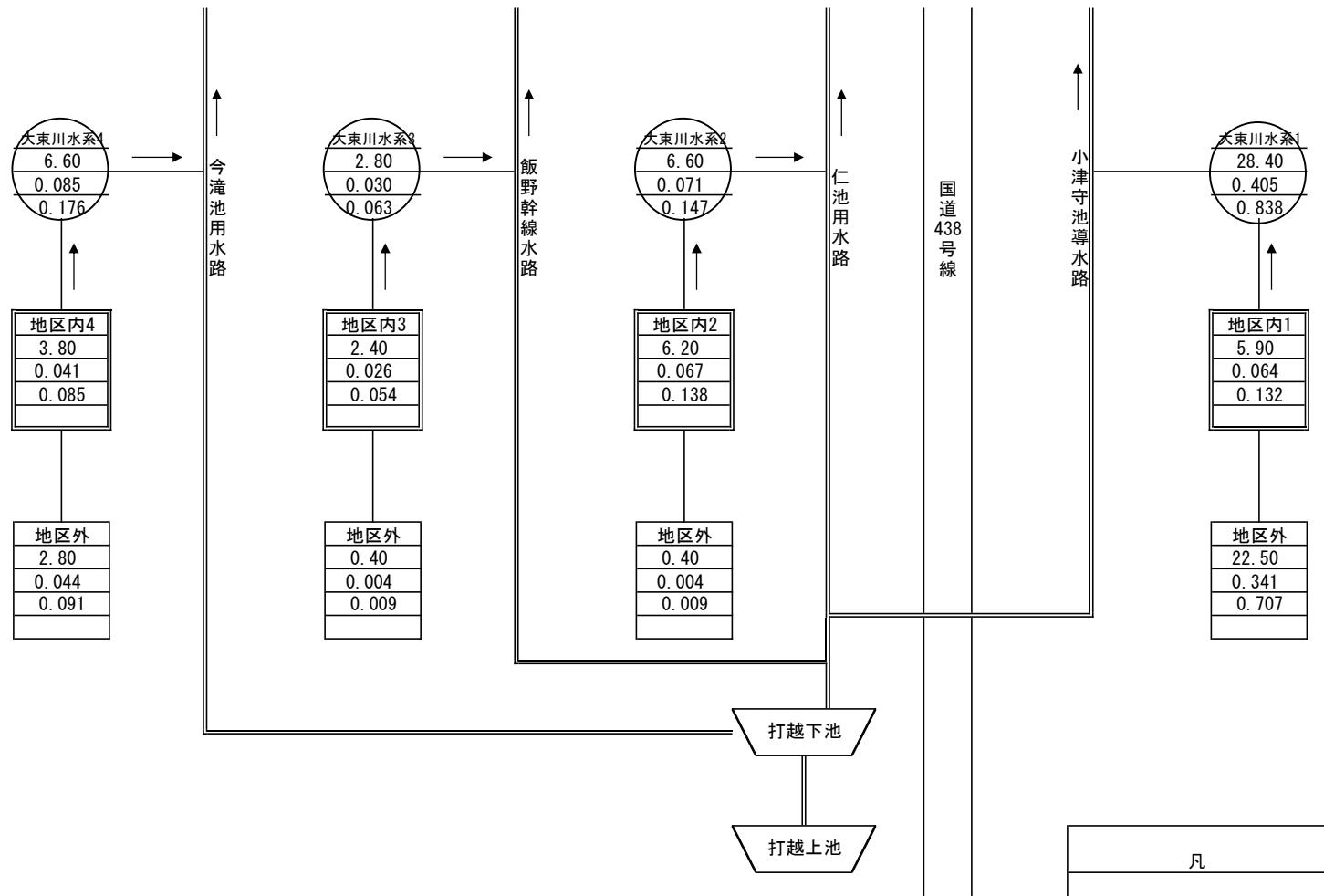
2. 排水状況

本地区の排水は自然排水であり、地区内の排水路は用排水兼用のコンクリート水路が主で一部土水路であるため、十分な排水が出来ておらず大部分の農地が湿田状態となり、耕作上支障を受けている。

(1) 排水系統

現況排水は別紙模式図のとおりである。

現況計画排水系統模式図



凡例

路線名	面積	系統名
排水量1/2	排水量1/2	排水量1/2
排水量1/10	排水量1/10	排水量1/10
		排水量1/10

本地区 地区外

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

施設名	項目	排水面積						計	排水慣行	現況排水能力	備考
		500 ha以上		499 ~ 100 ha		99 ha以下					
自然	排水路		ha	-	ha	地区一円	44.4	地区一円	44.4	m ³ /s	1.22
	水門										
機械	排水機										
	水門及び排水機										
計			-				44.4		44.4	-	1.22

(イ) 改修を要する施設の一覧表

施設名	項目	箇所数	構造	規模		新設または更新年月日	改修を必要とする理由	備考
				ha				
自然	排水路	18.5	コンクリート及び土水路	既設利用 B=0.30~0.70m	延長1,317m 延長2,056m	不詳	通水能力が不足	
	水門							
機械	排水機							
	水門及び排水機							
計		18.5		延長3,373m				

(3) 排水に関する被害状況
該当事項なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況

項目 河川名	流路状況	勾 配	断 面	安全洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
大 束 川	未改修	-	-	320		

(2) 洪水に関する被害状況
該当事項なし

項目 河川名	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作 物 (千円)	公共施設 (千円)	備 考
過 去 の 最 大 被 害 額					
平 均 被 害 額					

第4節 道路現況

1. 道路概況

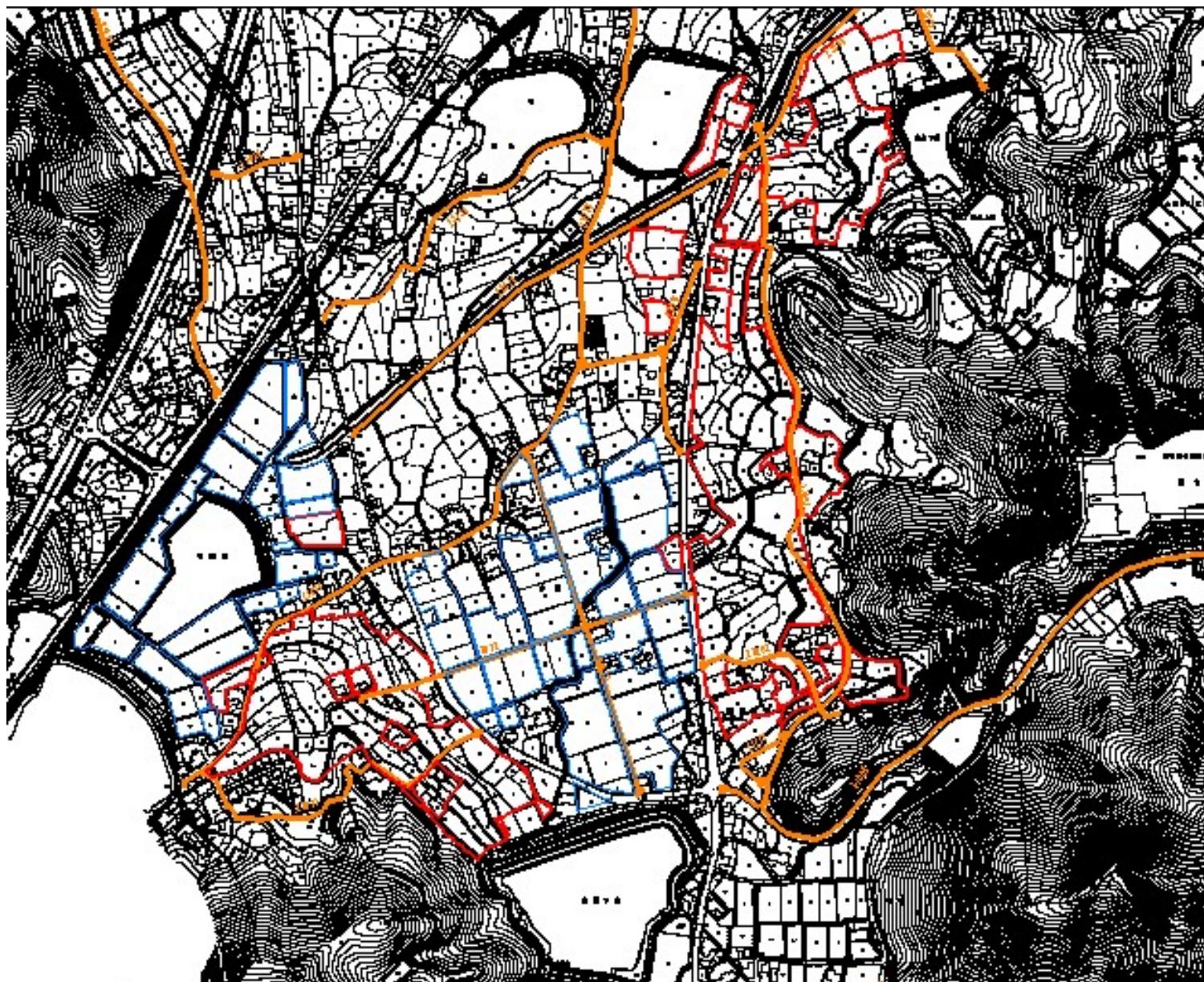
本地区の道路状況は、地区中央部を国道438号線が南北に通り、地区内では市道天神河内線などが通っている。

しかし、地区内の農道幅員は2.0m程度しかなく、農作業に不便を生じ多大の労力を要している現状である。

2. 主要道路一覧表

路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
			全幅	有効			
国道438号線	香川県	-	8.0	6.0	舗装道	否	
県道岡田丸亀線	〃	-	8.0	6.0	〃	〃	
市道天神河内線	丸亀市	1,013.50	3.30～9.75	-	〃	〃	
市道河内線	〃	242.20	2.75～5.70	-	〃	〃	
市道市地延命寺線	〃	921.30	3.00～5.45	-	〃	〃	

路線配置図



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

R2 農林業センサス

項目 市町村名	総数 人	第1次産業 人	内農業 人	第2次産業 人	第3次産業 人	備考
丸亀市	16,521	1,763	1,763	7,582	7,176	
比率 (%)	100	10.7	10.7	45.9	43.4	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス (R2) 、農林水産統計 (2020)

区分 市町村名	農業 経営 体 総 数	経営耕地広狭別経営体数 (戸)							1戸当平均農用地面積 (ha)				耕地の分散状況		専兼業別経営体数 (戸)		
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるも の	田	畑	樹園地	計	1戸当 団地数	団地当 面積	専業	兼業	
		戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	ha	ha	ha	ha	戸	ha	戸	戸
丸亀市	1,547	27	513	699	163	44	101		1.01	0.59	0.05	1.65			91	129	831
比率 (%)	100	1.7	33.1	45.2	10.5	2.8	6.5	0.0							8.6	12.3	79.1

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

農林業センサス 平成 27年

農林業センサス 令和 2年

項目	動力農機具										主要家畜						備考
	耕運機		自脱型農用トラクター		田植機		動力防除機		乳用牛		肉用牛		豚		にわとり		
市町村名	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
丸亀市	1,869	1,470	1,462	1,249	1,517	1,331	-	-	-	-	420	8	-	-	148,000	3	
100戸当数量 (台、頭)		127		117		113											
利用戸数割合 (%)																	

4. 主要作物作付状況

R2 農林業センサス

町名			丸亀市			作付率	備考		
総耕地面積			1,747 ha						
作物名		区分	作付面積		単位面積当収量				
田畠	表作	水稻	1,190		503				
	裏作	小麦	266		409				
	春夏作	ブロッコリー	45		1,080				
		大豆	96		96				
	夏秋作	キャベツ	59		3,120				
		レタス	20		2,340				
	樹園地								
計			-						
市町別延作付率									

5. 農業の動向

項目区分	農 家			土 地			主 要 作 物			家 畜			畜 動 力 農 機 具			備 考	
		H27	R2	地 目	H27	R2	作物名	H27	R2	家畜名	H27	R2	農機具名	H27	R2		
変化の状況 H22年を100とする指標	総農家数	87	131	耕 地	107	83	水 稲	86	78	乳用牛	-	-	耕運機 農用トラクター	-	-		
	専業農家数	-	-	田	107	81	麦	124	227	肉用牛	90	69	自脱型 コンバイン	-	-		
	第 1 種 兼業農家数	-	-	畑	2,900	4,550	レタス	83	49	豚	50	-	田植機	-	-		
	第 2 種 兼業農家数	-	-	樹園地	84	65		-	-	鶏	138	138	動力防除機	-	-		
	農 業 従事者数	105	85					-	-								
	8-8*	社会、経済情勢の変化による農業労働力の他産業への流出。			社会、経済情勢に伴う農地転用による減。			稲作転換事業の推進による。						農作業の機械化の進展。			
地域指定等	農業振興地域 指定 H17.5.2						果樹濃密生産団地 指定 S45 . S58 (かんきつ類、もも)										
	野菜指定産地			"	S41 . S45	(たまねぎ、冬レタス)											
				"	S52	(春レタス)	指定棚田地域			" R4.12.23 (岡田村)							
				"	H18 . H25	(トマト、ねぎ)											
	特定農山村			"	H5.9.28												
離島振興			"	S32.8.14													

第6節 地域環境の概況

1. 自然環境

本地区は、丸亀市南部（綾歌町）に位置し、米麦を中心とした農業が取り組まれている地域である。

地勢は、南から北に向かって緩やかに傾斜し、比較的緩やかな水田地帯が形成されている。

気象は、四季を通して温暖で雨が少ない瀬戸内式気候であり、台風や季節風の影響が少なく晴天の多いのも特徴である。

2. 社会環境

本地区の人口は近年の少子高齢化の進行に伴い減少しており、農業者においても高齢化による減少傾向が進んでいる。

観光資源としては、四国随一のアミューズメント施設レオマワールドが近隣にあり、県外から多数の観光客が訪れている。

このようなことから、安定した農業経営が可能な基盤づくりや、魅力ある特産品開発や農産物の直販体制の充実など農業者への支援が求められている。

3. 生産環境

本地区においては、米麦などの土地利用型農業を基幹農業としているが、農業者の高齢化や機械の更新、世代交代などの要因により農業従事者は減少傾向にあり、遊休農地の発生を抑制するために地域の担い手農家の確保する必要がある。

このようなことから、ほ場整備などの農業基盤整備を総合的、計画的に推進し、担い手農家への農地の集積をより一層推進し、高収益性作物の導入、流通・販売面の革新、産地として自立できる農業の確立に努める必要がある。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農業の近代化のためは場整備事業を行い、中型機械化体系の導入により労力の省力化と労働生産性の向上を図る。さらに、用排水の完全分離により、水田汎用化を図り、畑作導入を容易にして、経営体の育成を図り、農家経済の安定向上に寄与する。

2. 事業別面積

事業名 土地利用区分 事業目的	農業競争力強化農地整備事業							備 考
	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畠 (ha)	樹園地 (ha)			計 (ha)	
区画整理		14.8	-	-			14.8	
計		14.8	-	-			14.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、担い手農家を中心とした生産組織を育成し、集団的な土地利用、機械、施設の有効利用等を推進しつつ、水稻と転作作物を組み合わせた合理的な土地利用による農業生産の増大が重要な課題である。このため、本事業により区画、農道、用排水路等の整備を行ない、併せて農用地の集積を行ない経営規模を拡大することにより、中核農家の育成を図る。

2. 土地利用区分

事業名 項目 区分	地目	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畠 (ha)	樹園地 (ha)	小計 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	現 態	-	15.9	0.2	-	16.1	2.4	18.5	
農業競争力強化 農地整備事業	計 画	-	14.8	-	-	14.8	3.7	18.5	区画整理 18.5ha

3.作付方式

計画 地目	作物名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			面積 ha	備考
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
輪換耕地	水稻										○	—	△																			6.4	○作付体系の表示			
輪換耕地	なす							○	—	△	—	△	—	×																	1.7					
輪換耕地	ほうれん草										x											x									1.4	播種:○—○				
輪換耕地	レタス				△				x					x																	0.3	移植:△—△				
輪換耕地	なばな	x				x																									1.6	収穫:x—x				
輪換耕地	ねぎ					○					△	△	—	x								x									0.7					
輪換耕地	コーン	○			△	—	△				x			x																0.4						
輪換耕地	ブロッコリー							○	—	△												x	—	x							0.9					
輪換耕地	小松菜							○	—	△	—	x												x							0.5					
輪換耕地	きゅうり					△	—	x													x									0.1						
輪換耕地	(小麦)								x	—	x															△	—	△		4.2						
輪換耕地	(ほうれん草)									x	—	x														○	—	○		2.3						
輪換耕地	(レタス)				△	—		x	—		x														○	—	○	—	△	0.9						
輪換耕地	(なばな)								x	—	x															○	—	○		2.1						
輪換耕地	(ねぎ)								x	—	x															○	—	○		0.7						
輪換耕地	(ブロッコリー)							x	—		x														○	—	○	—	△	1.0						
輪換耕地	(にんにく)								x	—		x														△				0.1						
輪換耕地	(小松菜)							x	—		x														○	—	△		0.5							
計																															25.8	ha				

4. 生産計画

地目名	項目	作付面積			作付率		単位面積当収穫量			生産量			同左生産量 訳		備考
		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	収量増減	
表作	水 稲	ha 3.6	ha 6.4	ha 2.8	% 24.2	% 45.4	kg/10a 498	kg/10a 508	kg/10a 10	t 17.9	t 32.5	t 14.6	t 14.2	t 0.4	
	なす	0.2	1.7	1.5	1.3	12.3	2,630	3,025	395	5.3	51.4	46.2	45.4	0.8	
	ほうれん草	0.2	1.4	1.2	1.3	9.8	1,170	1,346	176	2.3	18.8	16.5	16.2	0.4	
	レタス	0.1	0.3	0.2	0.5	2.0	2,340	2,691	351	2.3	8.1	5.7	5.4	0.4	
	な ば な	0.1	1.6	1.5	0.5	11.5	652	750	98	0.7	12.0	11.3	11.3	0.1	
	ねぎ	0.1	0.7	0.6	0.5	5.2	1,460	1,679	219	1.5	11.8	10.3	10.1	0.2	
	コーン	0.1	0.4	0.3	0.5	2.7	1,160	1,334	174	1.2	5.3	4.2	4.0	0.2	
	フ ロッコリー	0.1	0.9	0.8	0.5	6.2	1,080	1,242	162	1.1	11.2	10.1	9.9	0.2	
	小松菜	0.1	0.5	0.4	0.5	3.9	1,040	1,196	156	1.0	6.0	4.9	4.8	0.2	
	きゅうり	0.1	0.1	-	0.5	1.0	3,980	4,577	597	4.0	4.6	0.6	-	0.6	
裏作	小 麦	3.6	4.2	0.6	24.3	30.0	399	459	60	14.4	19.3	4.9	2.8	2.2	
	ほうれん草	-	2.3	2.3	-	16.7	1,170	1,346	176	-	31.0	31.0	31.0	-	
	レ タ ス	-	0.9	0.9	-	6.3	2,340	2,691	351	-	24.2	24.2	24.2	-	
	な ば な	0.5	2.1	1.6	3.1	15.3	652	750	98	3.3	15.8	12.5	12.0	0.5	
	ね ぎ	-	0.7	0.7	-	5.0	1,460	1,679	219	-	11.8	11.8	11.8	-	
	フ ロッコリー	-	1.0	1.0	-	7.2	1,080	1,242	162	-	12.4	12.4	12.4	-	
	にんにく	0.1	0.1	-	0.5	0.5	727	836	109	0.7	0.8	0.1	-	0.1	
	小 松 菜	-	0.5	0.5	-	3.4	1,040	1,196	156	-	6.0	6.0	6.0	-	

面積は本地面積

5. 営農に係る労働時間計画

項目 地目	作物名	作付面積	単位面積当労働投下量 (hr/ha)				備考
			区分	現況	計画	増減	
水 稲 (法人経営)		ha 6.4	人 力	608.9	266.8	△342.1	ha当たり節減額 302,226
			機械力	132.2	101.2	△31.0	
小 麦 (法人経営)		4.2	人 力	324.2	103.7	△220.5	△ 126,056
			機械力	119.0	77.9	△41.1	
な す (法人経営)		1.7	人 力	10,162.7	8,830.0	△1332.7	7,836,579
			機械力	1,190.8	422.8	△768.0	
ほ う れ ん 草 (法人経営)		3.7	人 力	2,672.0	2,405.0	△267.0	6,761,694
			機械力	491.2	254.5	△236.7	
レ タ ス (法人経営)		1.2	人 力	2,319.9	1,849.0	△470.9	8,052,516
			機械力	520.9	314.0	△206.9	
な ば な (法人経営)		3.7	人 力	5,907.0	5,778.0	△129.0	292,107
			機械力	77.5	33.9	△43.6	
ね ぎ (法人経営)		1.4	人 力	5,641.3	4,948.0	△693.3	1,036,453
			機械力	1,110.2	895.0	△215.2	
コ 一 シ (法人経営)		0.4	人 力	1,470.6	1,088.0	△382.6	848,191
			機械力	53.5	24.6	△28.9	
ブ ロ ッ コ リ ー (法人経営)		1.9	人 力	850.0	561.7	△288.3	1,350,381
			機械力	150.0	44.9	△105.1	
に ん に く (法人経営)		0.1	人 力	2,959.2	2,210.0	△749.2	4,956,744
			機械力	430.3	172.0	△258.3	
小 松 菜 (法人経営)		1.0	人 力	2,877.3	2,780.8	△96.5	2,405,103
			機械力	260.5	164.0	△96.5	
き ゆ う り (法人経営)		0.1	人 力	16,279.4	15,150.0	△1129.4	△ 282,798
			機械力	1,332.5	1,082.0	△250.5	

6. 級地別土地利用区分
該当事項なし7. 土地配分計画
該当事項なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和37年

2. 計画かんがい方式

パイプライン

3. 計画用水系統

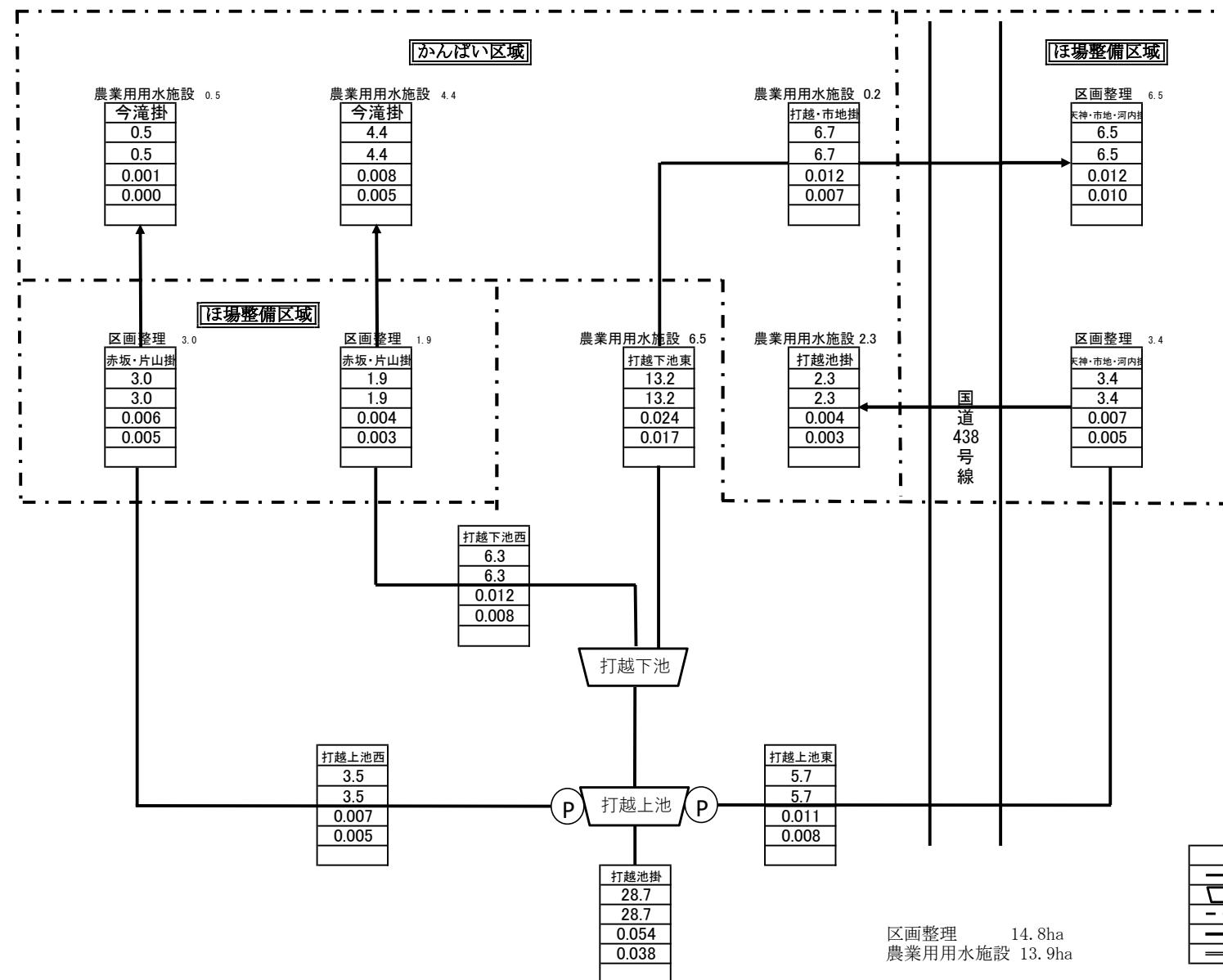
用水系統は別紙のとおり

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

項目 系統名	種別	面積	水田かんがい			畠地かんがい			田 畑 輪 換						消費水量	損失量	粗用水量		備考			
			普通期		代かき期	面積	1日当計画平均 かん水深平均	平均間断日数	水田かんがい			畠地かんがい					平均	最大				
			計画平均 水量	計画平均 水量単位用	計画平均 水量単位用				普通期	代かき期	面積	1日当計画平均 かん水深平均	平均間断日数	面積								
支線用水路	農業用水	ha 14.8	mm/day -	mm -	mm/day -	ha	mm/day	日	ha	mm/day	mm	ha	mm/day	日	ha	m ³ /s 0.039	% 10.0	m ³ /s 0.023	m ³ /s 0.029	区画		

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1)水利用計画

項目区分	消費水量	有効雨量	純用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備 考
				水源名	取水地点 利用可能量	田畑面 利用可能量	純不足量	全不足水量	水源名	水量		
ほ場整備	千m ³ 207	千m ³ 26	千m ³ 181	ため池 出水 河川 香川用水	千m ³ 169	千m ³						
水田補水							-	-				

項目区分	現　況			計　画		備　考
	しろかき期	普通期	しろかき期	普通期		
純用水量	m ³ /s 0.022	m ³ /s 0.015	m ³ /s 0.023	m ³ /s 0.020		
損失水量	0.006	0.002	0.006	0.003		
全用水量	0.028	0.017	0.029	0.023		
利 用 可 能 量	ため池	0.029	0.017	0.029	0.017	
	井 壤					
	香川用水	0.000	0.006	0.000	0.006	
	計	0.029	0.023	0.029	0.023	
不 足 量	-	-	-	-	-	

(2) 用水対策

(ア) 井堰及び自然取入口

(イ) 貯水池

(ウ) 揚水機

項目	水源名	かんがい面積	所要水量		計画				備考
			最大	平均	実揚程	揚水量	台数	全揚水量	
西側揚水機	打越上池	ha 3.0	m ³ /s 0.037	m ³ /s	m 14.2	m ³ /s 0.037	台 1	m ³ /s 0.037	区画整理 3.0
東側揚水機	打越上池	3.4	0.037		18.3	0.037	1	0.037	区画整理 3.4

(エ) 用水路

項目 名称	かんがい面積	最大通水量	延長	構造	備考
支線用水路	ha 14.8	m ³ /s 0.092	m 5,208	VUR $\phi 125 \sim \phi 350$	区画整理 5.208
"			687	SF 600×600～ SF 1900×1300	地区外 開水路
計	14.8		5,895		

(オ) その他の水源施設

該当事項なし

(3) 水質水温

該当事項なし

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量1/10年確率 174.9mm/day (滝宮観測所の資料による) R3.4.1

2. 計画排水方式

排水本川である綾川へ自然排水を行なう。

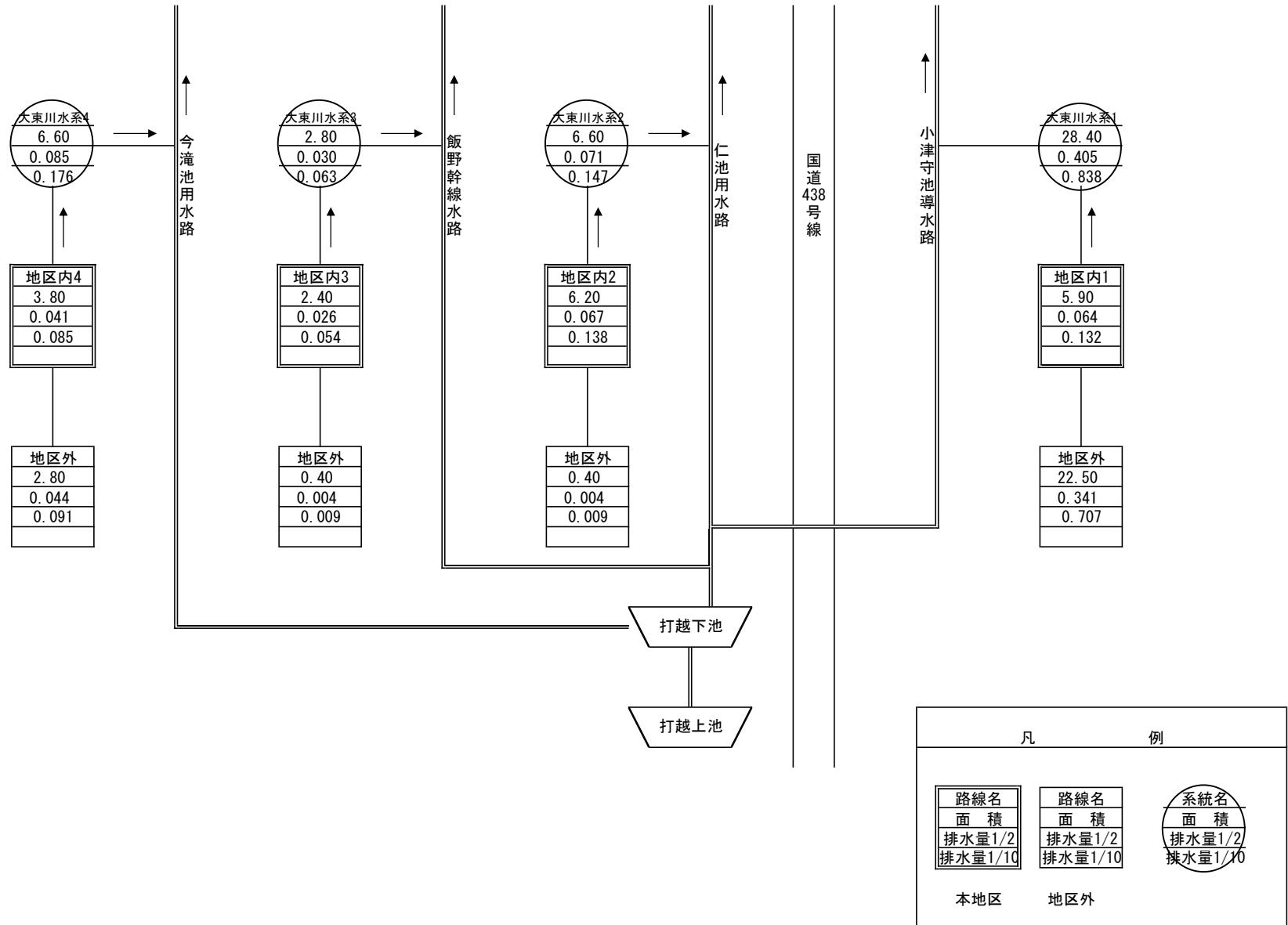
3. 計画排水系統

別紙計画排水系統図のとおり

4. 計画排水量

項目 支線 系統名	受益 面積	流域面積		基 準 雨 量	降雨による直接 単位流出量		基底流出量		全 排 水 量			単位排水量		備 考		
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地			
										自然排水	機械排水					
大東川 1	ha 4.8	ha 16.50	ha 11.90	mm 174.9	m³/s/km² 3.47	m³/s/km² 2.23			0.573	m³/s 0.265	m³/s 0.265	m³/s/km² 3.47	m³/s/km² 2.23			
大東川 2	5.1	-	6.60	174.9	3.47	2.23			-	0.147		3.47	2.23			
大東川 3	1.9	-	2.80	174.9	3.47	2.23			-	0.063		3.47	2.23			
大東川 4	3.0	2.30	4.30	174.9	3.47	2.23			0.080	0.096		3.47	2.23			
計	14.8	18.8	25.6						0.653	0.571						

現況計画排水系統模式図



5. 排水対策

(1) 排水水門

該当事項なし

(2) 排水機

該当事項なし

(3) 排水路

項目 名称	流域面積	受益面積	計画排水量	延長	構造	排水本川			備考
						名 称	計画洪水量	計画洪水位	
支線排水路	ha 8.7	ha 18.5	m ³ /s 0.001~0.586	m 3,373	SF300~SF700	大束川	m ³ /s 1.11~1.92	m -	支線排水路2056m 既設利用1317m

(4) その他

該当事項なし

6. たん水検討

該当事項なし

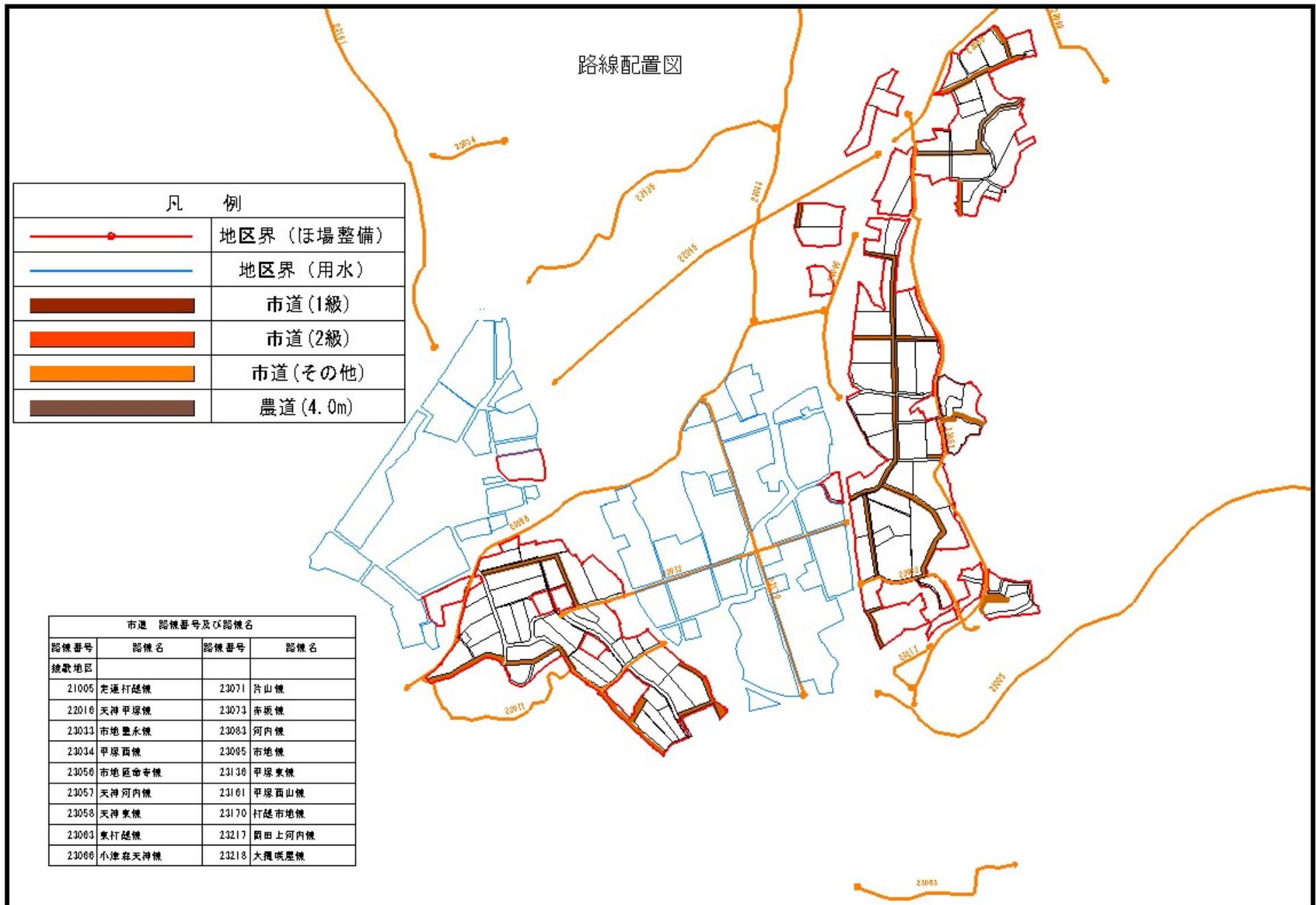
第5節 道路計画

1. 道路及び索道

項目 路線名	幅（有効）× 延長	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	4.0m (3.0m) × 2,438m	砂利敷		
管理道路	3.0m (2.5m) × 317m	砂利敷		
計	2,755m			

2. 路線配置図

別紙のとおり



第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

該当事項なし

2. 土壌改良

該当事項なし

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当事項なし

2. 計画洪水量及び調節量

該当事項なし

3. 貯 水 池

該当事項なし

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当事項なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当事項なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当事項なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当事項なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当事項なし

(3) 洪水調節要領

該当事項なし

第8節 干拓計画

該当事項なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

	長辺×短辺 (m)	区画面積	全体面積 (ha)	割合 (%)	田差	備考
水田	80 × 25	20a 以上	7.6	69.1		
	50 × 20	20a 未満	3.4	30.9		
	50 × 20	ただし書適用地域	3.8			
	小計		14.8	100.0		
畑	傾斜					
	1/20以上		-			
	1/20～1/100		-			
	1/100～1/300		-			
	1/300～1/1000		-			
	1/1000以上		-			
	小計		-			
計			-			

ただし書適用理由 : A=畑作農業計画樹立 B=不良土層 C=田差1.0m以上 D=排水条件悪化

(2) 表土扱い

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m ³)	備 考
14.8	ち 密 度	15	22,200	$14.8 \times 10,000 \text{m}^2 \times 0.15 \text{m}$

(3) 末端道水路配置図

別紙のとおり

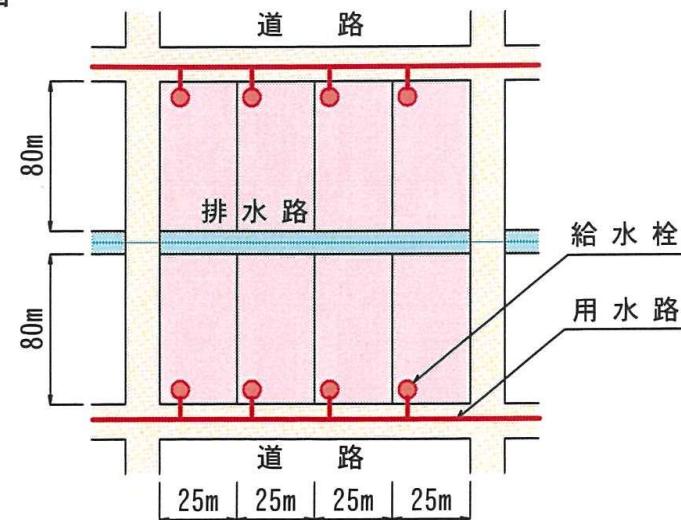
2. 暗渠排水

該当事項なし

項 目 区 分	面 積 (h a)	土壤統(区)分	基準雨量 (mm/day)	綾川 (l/s/ha)	計 画 後 の 地下 水 位 (m)	集水渠出口以下 の排水方法	備 考

標準区画割図

区画整理

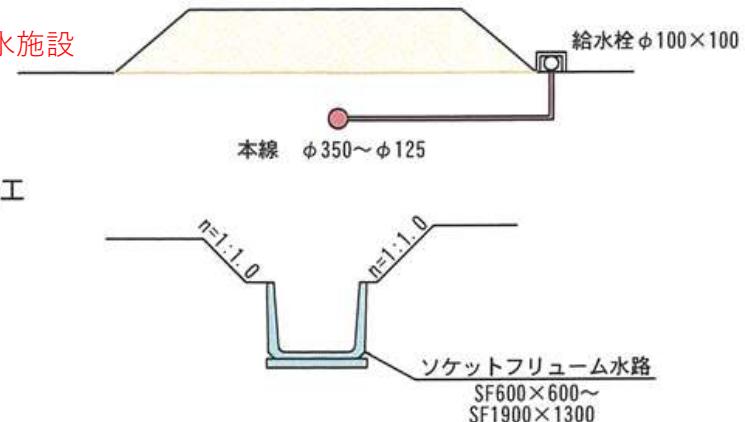


用水路工

区画整理
農業用用水施設

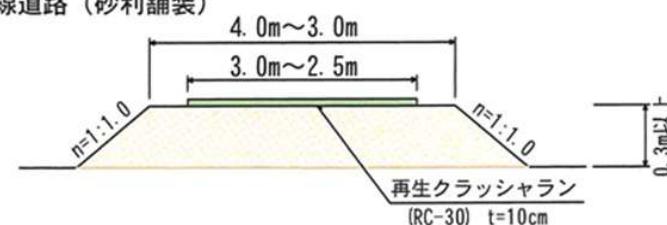
用水路工
区画整理

ソケットフリューム水路
SF600×600～
SF1900×1300



標準構造図
道路工

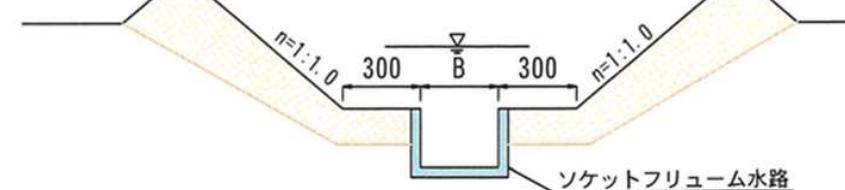
区画整理



排水路工

区画整理

ソケットフリューム水路
SF300～SF700



3. 客 土

該当事項なし

4. 農地保全

(1) 防 災 林

該当事項なし

(2) 排 水 口

該当事項なし

(3) 侵食（崩壊）防止工

該当事項なし

5. 農業用水（雑水工）

該当事項なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当事項なし

(2) 計画洪水量

該当事項なし

2. 堤体補強計画

該当事項なし

3. 取水施設改修計画

該当事項なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 頭首工 該当事項なし
2. 貯水池 該当事項なし
3. 揚水機

項目 項目	位置	揚水量 m^3/s	揚 程		揚水機			原動機			備 考
			実揚程	全揚程	型式	口径	台 数	型式	動力	台 数	
揚水機場 西側	西側	0.037	14.2	21.0	渦巻	$\phi 80 \times 65$	2	モータ	7.5	1	
揚水機場 東側	東側	0.037	18.3	39.0	渦巻	$\phi 80 \times 65$	2	モータ	15.0	1	

4. 用水路

項目 水路名	支配面積	通水量	延長			構造	勾配	主要構造物	備考
			総延長	開渠	管水路				
支線用水路	ha 14.8	m ³ /s 0.018 ~0.092	m 5,208	m	m 5,208	VUR , VPR φ125~φ350	-	制水弁・空気弁・排泥弁	区画整理 5,208
"			687	687		SF600×600~SF1900×1300			地区外
計	14.8		5,895	687	5,208				

5. その他かんがい施設

該当事項なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当事項なし

2. 排水機

該当事項なし

3. 排水路

項目 水路名	受益面積	排水量	延長			構造	こう配	主要構造物	備考
			総延長	開水路	その他				
支線排水路	ha 14.8	m ³ /s 0.001 ~0.586	m 2,056	m 2,056	m	SF300～SF700	1/200	合流ボックス	

4. その他

該当事項なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

項目 道路名	種別	幅(有効) × 延長	構 造	延 長			最 急 配 延	同左の 長	最小曲線 半 径	備 考
				名 称	構 造	数 量				
全工区	支線道路	4.0 (3.0m) 2,438m	敷砂利	-	-	-				
全工区	管理道路	3.0 (2.5m) 317m	敷砂利	-	-	-				
計		2,755m								

(2) 道路主要構造物

該当事項なし

2. 索 道

該当事項なし

第4節 農用地造成

1. 農用地造成工

(1) 拔 根

該当事項なし

(2) 除 磯

該当事項なし

(3) 開墾作業

該当事項なし

2. 土壌改良

該当事項なし

第5節 洪水調節施設

1. 貯 水 池

該当事項なし

2. 頭首工及び導水施設

(1) 頭 首 工

該当事項なし

(2) 導 水 路

該当事項なし

第6節 干 拓 施 設

1. 堤 防

該当事項なし

2. 潮 止 め

該当事項なし

3. 付属施設

該当事項なし

4. 埋 立

該当事項なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

区分	面 積	整地工		表土扱い		備 考
		標準区画	土 量	面 積	土 量	
全 工 区	ha	m	-	ha	m ³	整地工は標準積算
	14.8	80 × 25		14.8	22,200	

2. 暗渠排水 該当事項なし

区分	面 積	集水渠				吸水渠				集水渠出口以外の排水施設			備 考
		勾 配	管 種	管 径	延 長	勾 配	管 種	深 さ	間 隔	延 長	名 称	構 造	
全 工 区	ha				m/ha			m	m	m			

3. 客 土

該当事項なし

4. 農地保全

(1) 防 災 林

該当事項なし

(2) 排 水 路

該当事項なし

(3) 侵食防止工

該当事項なし

5. 農業用水（雑用水施設）

該当事項なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯 水 池

該当事項なし

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当事項なし

(2) 漏水防止工

該当事項なし

第 6 章 附帯工事計画

該当事項なし

第 7 章 工事の着手および完了の予定期期

1. 区画整理

工事の着手	令和6年度
工事の完了	令和11年度

第8章 環境との調和への配慮

ため池のある美しい田園環境と農村の文化を大切にし、農地とため池の調和が取れた生活基盤づくり、生物の多様性を維持する人と自然の関わりなど、田園環境と共生する環境形成のため、「第二次丸亀市総合計画後期基本計画」・「田園環境整備マスターplan」に基づき、水環境や自然の生態系を保全しつつ、ほ場整備を計画的に実施し、優良農地の確保並びに農地の持つ保水機能や自然環境を維持する緑地の保全、農村地域の生活環境の改善とため池や農業用排水路の水質保全に努める。

- ・農業生産基盤の整備と自然環境の保全、自然と共生する環境創造
- ・水と緑を活かしたうるおいのある生活空間の創造

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上で基本的な考え方

換地計画樹立のための基準を事業採択前に作成することにより、事業着手後における換地計画の樹立及び換地処分の実施を適正かつ円滑に行い、事業実施地区における農用地の集団化その他農業構造の改善及び土地利用の合理化に資する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区的名称、所在、面積

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
全 区	丸亀市綾歌町岡田上・岡田下	18.5

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前地の土地の地積の基準

換 地 区 名	地 積 の 基 準
全 区	換地交付の基準とする従前地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、左記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

単位 : ha

用 途 (取得予定者) 換地区名	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国有地	総合計			
	田	畑	山林・原野	その他の 土地改良施設	通常事業施行地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地			合計	国	県	市町村	合計				
					改良区	その他	小計		宅地	その他	計			農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公共・公用施設用地		宅地等	計										
全 区	従前の土地	15.9	0.2	0.2	-	0.4	-	0.4	16.7	-	-	-	16.7	0.4	-	0.4	0.2	-	-	-	-	0.6	-	-	1.2	1.2	-	18.5	
	換 地	14.8	-	-	-	0.4	-	0.4	15.2	1.5	-	1.5	-	16.7	0.4	-	0.4	0.2	-	-	-	-	0.6	-	-	1.2	1.2	-	18.5

3. 農用地集団化の方針

区分 換地区名	地帯別・グループ別団地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法											
		位 置 の 選 択 方 法				1 戸 当 り 目 標 団 地 数				区 画 畦 畔 の 取 扱 い			
全 区	該当なし	換地は各人の従前地が最も密集した位置を中心に集団化する。 密集した位置がいくつかに分かれているときは2ヶ所を限度としてできるだけその者の住居に近い密集地を選んで集団化する。				1~2 団地				畠畔は、移動畠畔とする。換地は、原則として標準区画を単位に交付するが、標準区画に交付して余る場合、又は標準区画に不足する場合は標準区画を分割して交付する。 標準区画の分割は原則として長辺に沿って分割するが、この場合、短辺の部分が10m以下になるような分割はしない。 上記の分割制限に達しない小面積の土地は、その土地を配分すべき位置に最も近い位置の端田区、又は長辺が道路に接した区画を長辺と直角に分割して交付する。 分割後の区画は道路に必ず接するように、又、水路にもできるだけ接するように配慮する。			

(別紙)

県営農業競争力強化農地整備事業 岡田上地区 非農用地一覧表

番号	住所	氏名	面積(m ²)	摘要	用途
1			1492.00	区画整形	特定用途用地換地
2-1			450.00	区画整形	特定用途用地換地
2-2			210.00	区画整形	異種目換地
3-1			155.00	区画整形	特定用途用地換地
3-2			96.00	区画整形	異種目換地
4			500.00	区画整形	異種目換地
5-1			790.00	区画整形	異種目換地
5-2			120.00	区画整形	異種目換地
6			592.00	区画整形	特定用途用地換地
7-1			130.00	区画整形	特定用途用地換地
7-2			60.00	区画整形	異種目換地
8-1			491.00	区画整形	特定用途用地換地
8-2			39.00	区画整形	異種目換地
9			793.00	区画整形	特定用途用地換地

第4節 土地の評価及び清算方法

1. 評価の方法
標準地よりの増減点方式

2. 清算の方法
比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

換地区分	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
全 区		令和8～10年度	令和11年度	令和11年度	工事予定年度 令和7年度～令和11年度

()書き：変更前

第6節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位 : m²)

換地区名	用 途	公 用 公 共 用 地				一般国有地	合 計
		国 有 地	都道府県有地	市町有地	計		
全 区	道 路	-	-	9,612.58	9,612.58	-	(9,386.54)
	水 路	-	-	2,709.22	2,709.22	-	(2,663.29)
	河 川	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	12,321.80	12,321.80	-	(12,049.83)

第7節 換地処分の時期に関する特則

区画整理工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第54条第2項本文の規定にかかわらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(千円)

種 目	事 業 量	事 業 費	種 目	事 業 量	事 業 費
工 事 費	14.8 ha	570,000	測 量 試 験 費	1.0 式	44,280
区画整理工	14.8 ha	570,000	用 地 買 収 補 償 費	1.0 式	32,000
(整 地 工)	(14.8 ha)	(154,000)	換 地 費	18.5 ha	36,000
(道 路 工)	(2.8 km)	(60,000)	計		682,280
(用 水 路 工) 開水路	(0.7 km)	(67,000)	工 事 雜 費	1.0 式	13,645
(用 水 路 工) (水路工等)	(5.2 km)	(228,000)	地 方 事 務 費	1.0 式	20,468
(排 水 路 工)	(2.1 km)	(61,000)	計		716,393
農 業 用 用 排 水			経 営 高 度 化 支 援	1.0 式	17,057
(水 路 工 等)	()		合 計		733,450

第11章 効用

項目 区分	増加純益額 千円	増加所得額 千円	備考
作物生産効果	13,098	38,597	
営農経費節減効果	56,807	57,718	
維持管理費節減効果	△1,458	△1,185	
耕作放棄防止効果	90	-	
農業労働環境改善効果	607	-	
国産農産物安定供給効果	5,553	-	
計	74,697	95,130	総費用 653,142千円、総便益額1,329,064千円 総費用総便益比=総便益額/総費用=2.03

第12章 関連する事業 農業競争力強化農地整備事業 「岡田上地区」（農業用排水施設整備事業）

第13章 現況計画図面

1. 現況平面図

別紙のとおり

2. 計画平面図

別紙のとおり

3. 土地利用計画図

別紙のとおり

4. 主要構造図

別紙のとおり

県営ほ場整備事業によって造成された施設の予定管理方法等

1. 管理者 丸亀市綾歌町土地改良区

2. 管理すべき施設の種類

(1) 道 路 L= 3,387 m

(2) 用水路 L=5895 m (開水路 687m パイプライン 5,208m)

(3) 排水路 L= 6,097 m

(4) 揚水機 2台 2揚水機場

3. 貯水, 放流, 取水又は排水に関する基本的事項

用水は、貯水池の有効利用を図るため、灌漑効率のよいパイプライン方式、また各圃場の排水はフリューム排水路による排水路とする。

道路, 用水路, 排水路については、適切に管理するものとする。

揚水機については、揚水量, 揚水期間, 運転時間その他管理方法については、別に揚水機規定を定めるものとする。

4. 管理に要する費用の概算及びその負担の方法及びその他管理方法に関する基本的事項

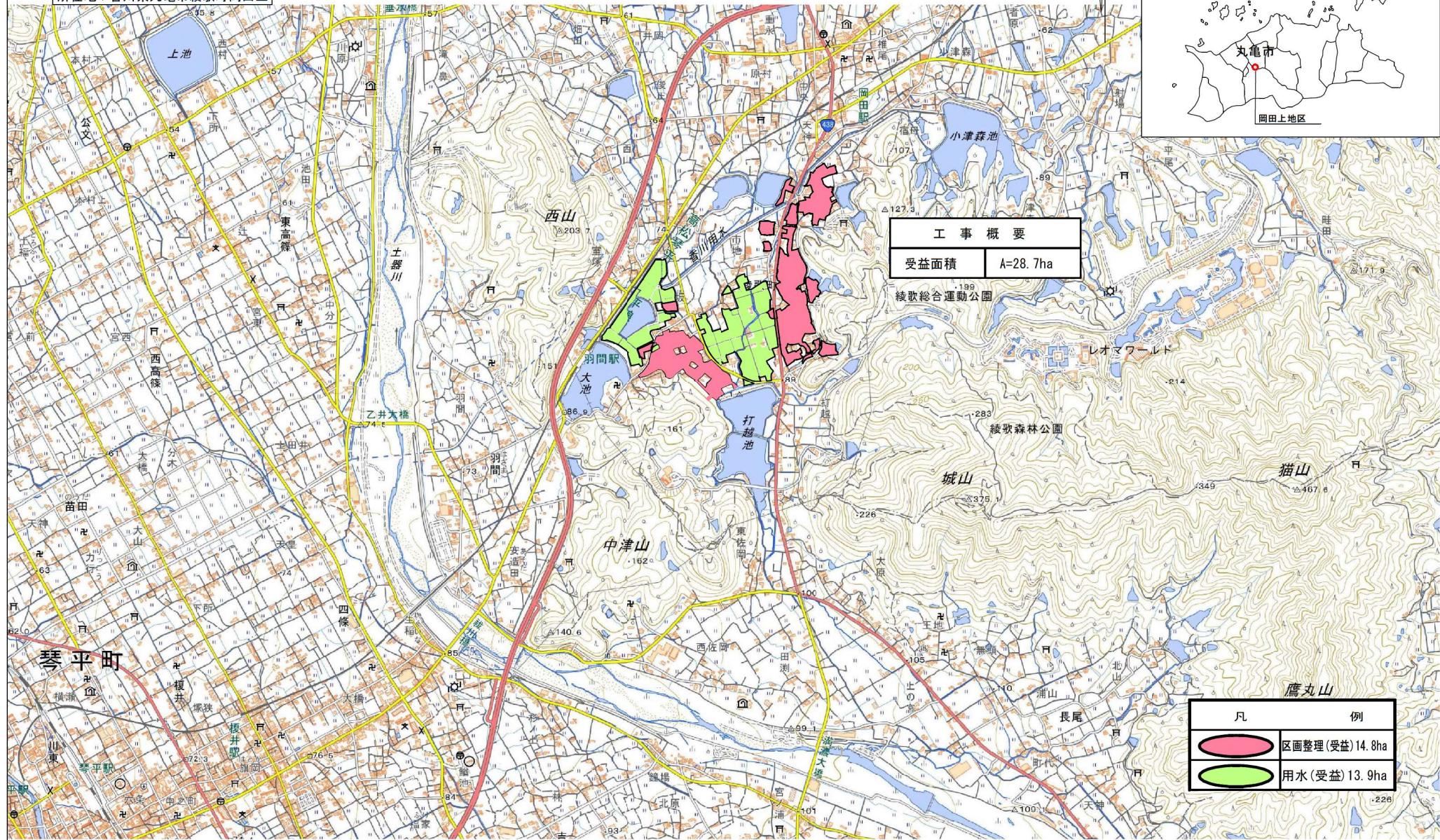
工 種	標準年間経費 の 概 算	耐用年数	施設の耐用年数 期間の合計額
道 路	1,167千円	40年	46,680千円
用水路	129千円	30年	3,870千円
排水路	193千円	30年	5,790千円
揚水機	577千円	20年	11,540千円
計	2,066千円		67,880千円

地元に管理委託し、受益者が全額負担する。

県営農業競争力強化農地整備事業 岡田上地区 位置図

S=1:25,000

所在地：香川県丸亀市綾歌町岡田上

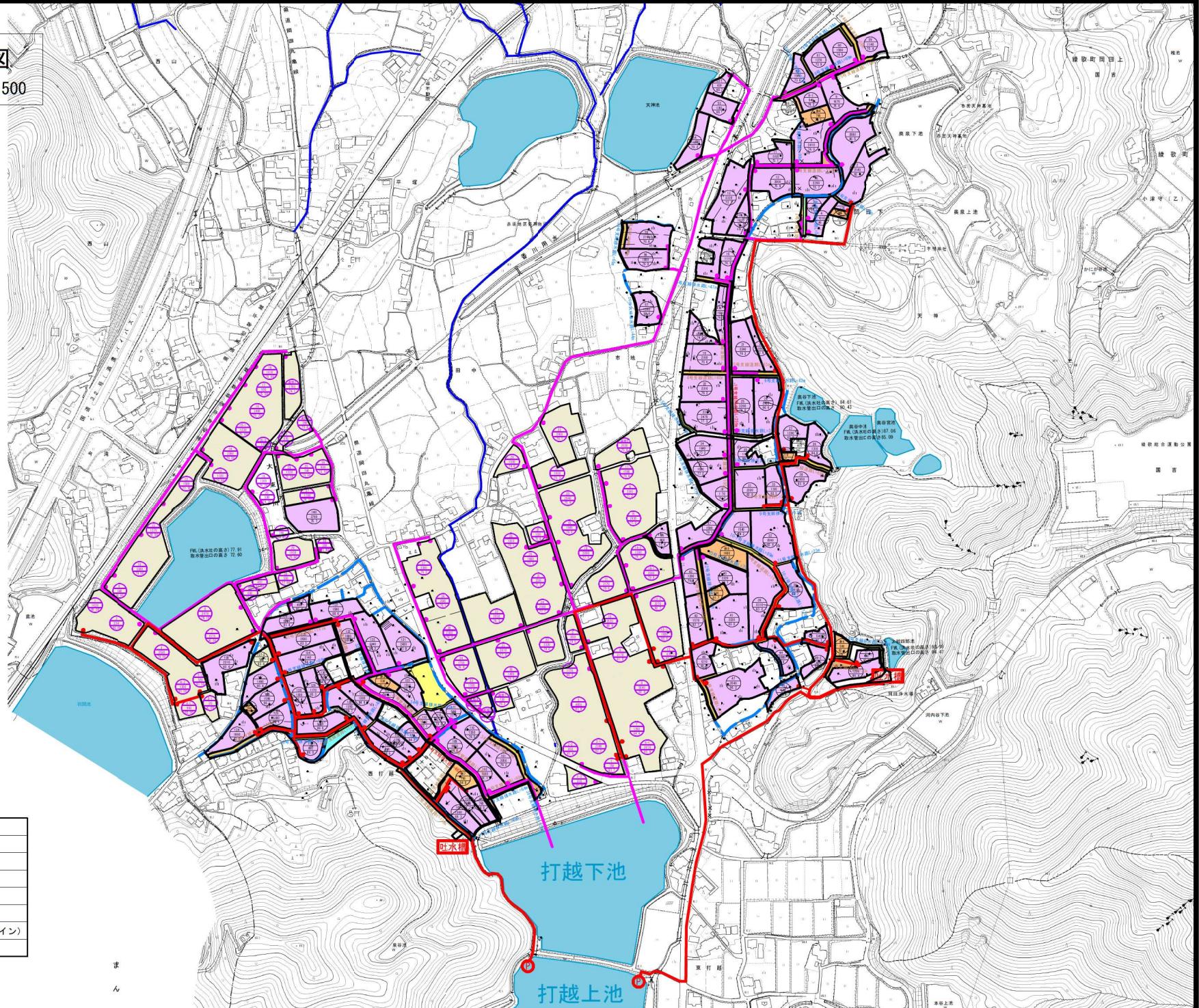


県内位置図



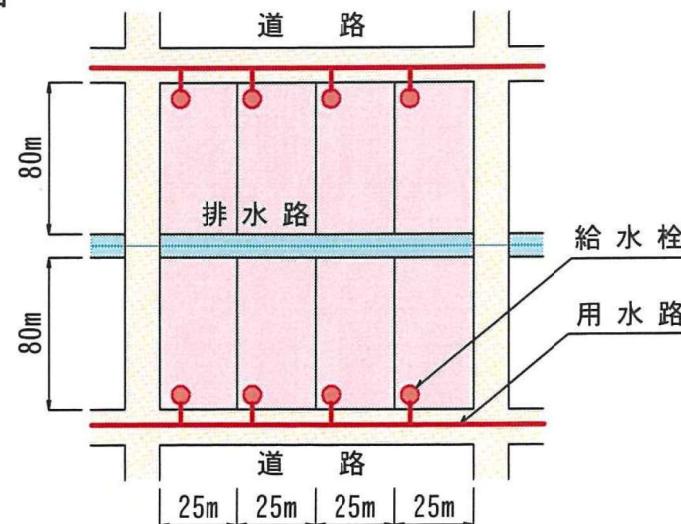
計画平面図

S=1:2,500



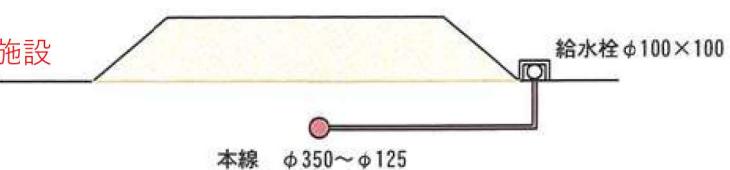
標準区画割図

区画整理



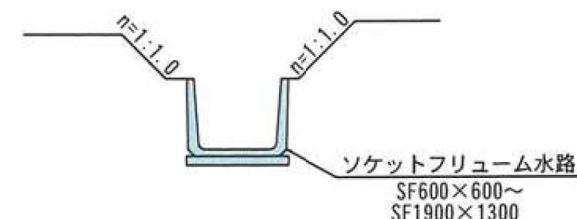
用水路工

区画整理
農業用用水施設



用水路工

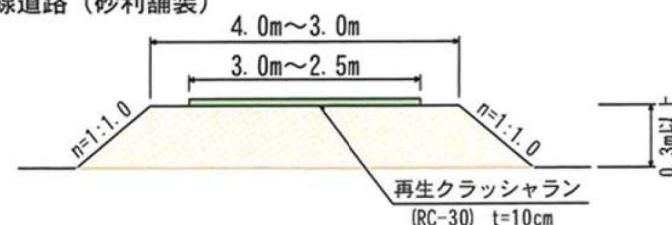
区画整理



標準構造図

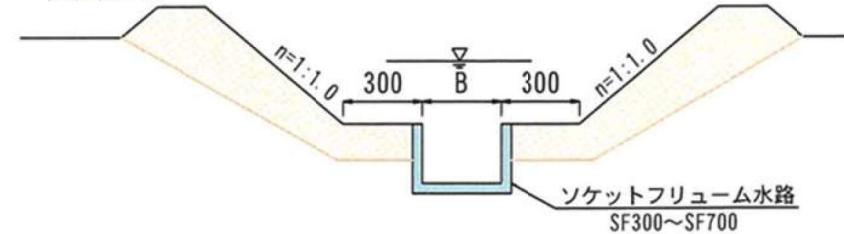
道路工
・支線道路（砂利舗装）

区画整理



排水路工

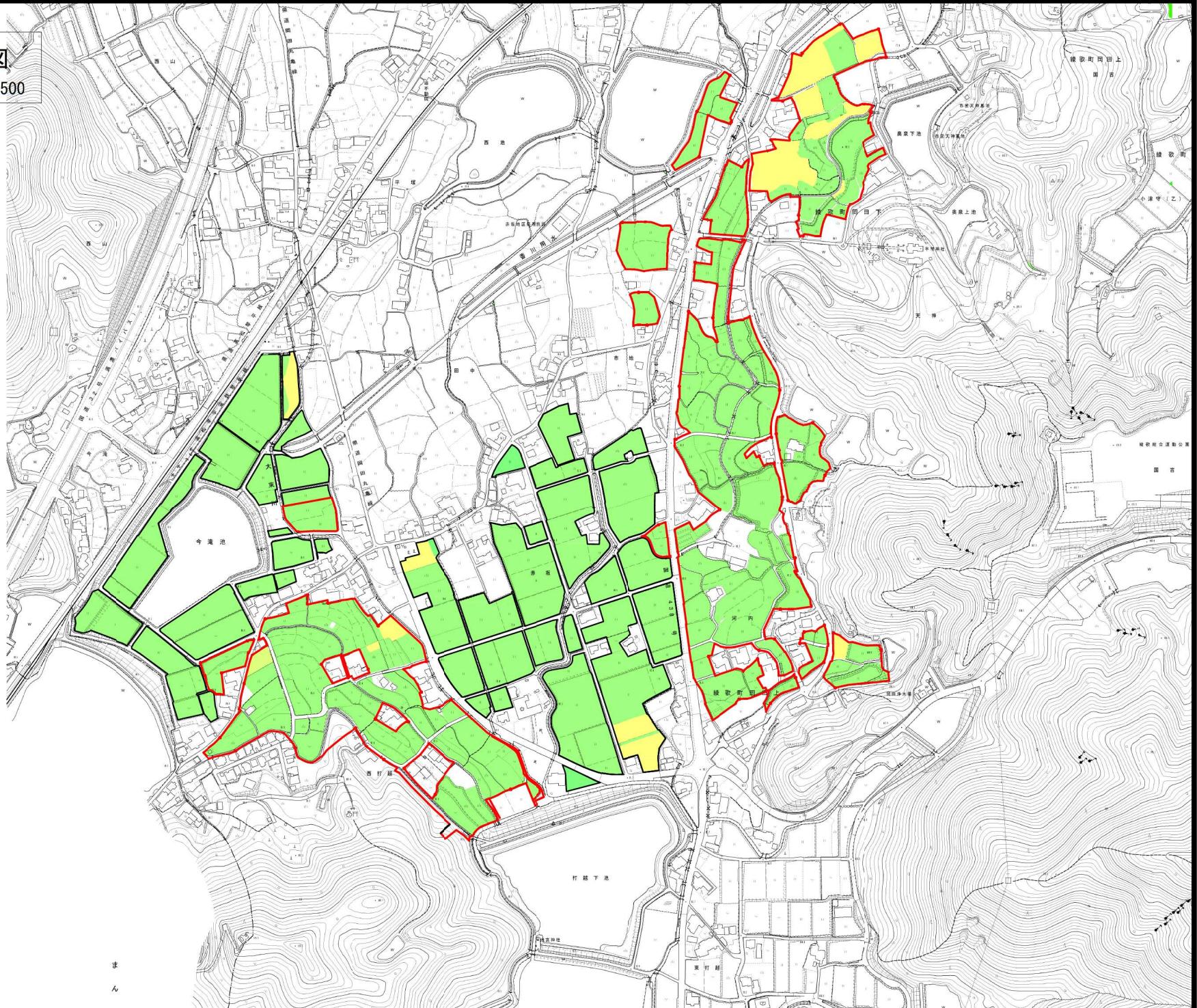
区画整理



農振土地利用計画図

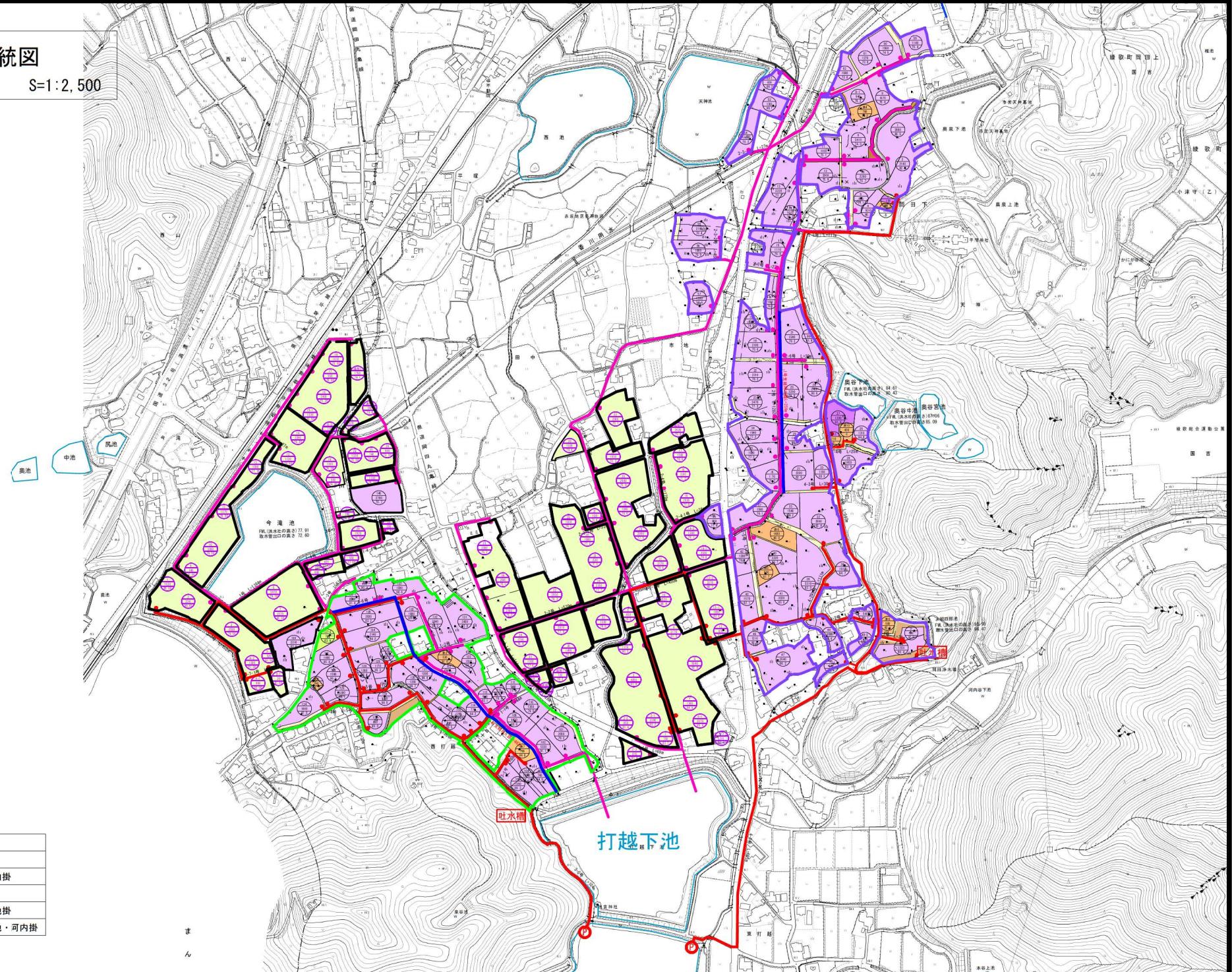
S=1:2,500

凡 例 (受益地内)	
	農振農用地
	農振農用地外



計画用水系統図

S=1:2,500



凡 例	
■	打越池掛
■	赤坂・片山掛
■	今瀧掛
■	打越・市地掛
■	天神・市地・河内掛

ま
ん

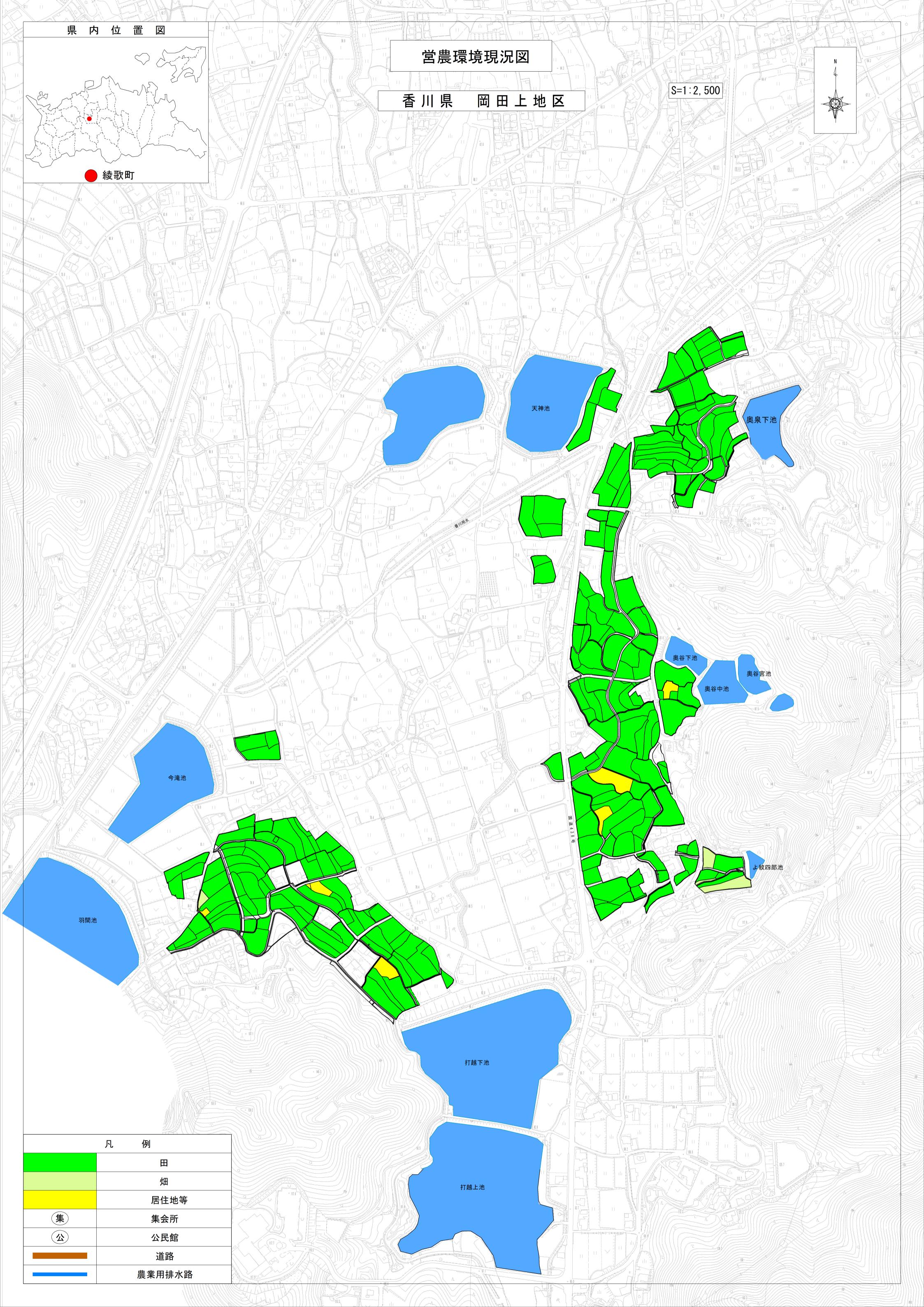
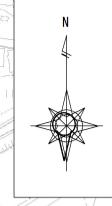
県内位置図



営農環境現況図

香川県 岡田上地区

S=1:2,500



凡 例

	田
	畠
	居住地等
	集会所
	公民館
	道路
	農業用排水路

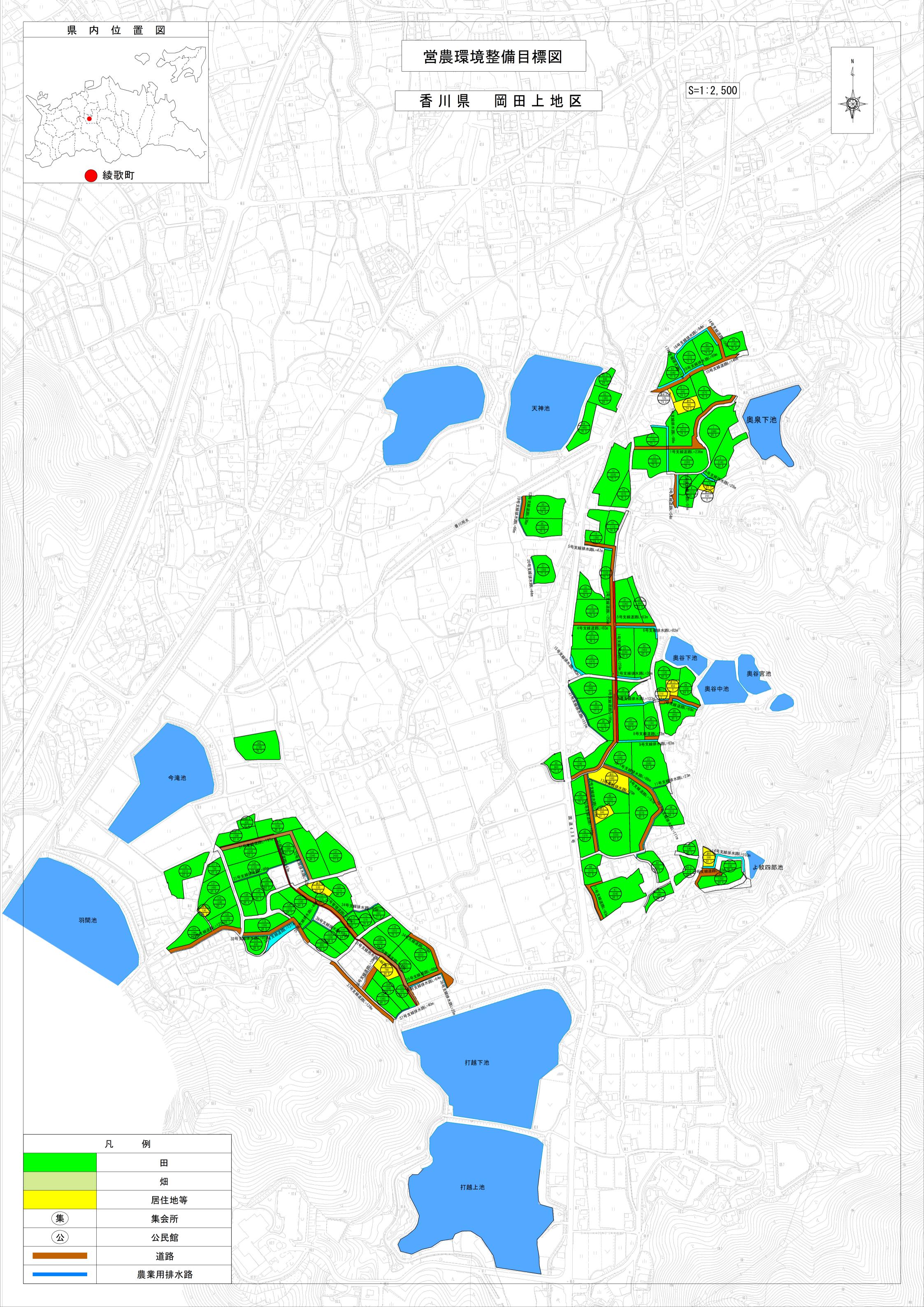
県内位置図



農業環境整備目標図

香川県 岡田上地区

S=1:2,500



凡例

田

畠

居住地等

集会所

公民館

道路

農業用排水路